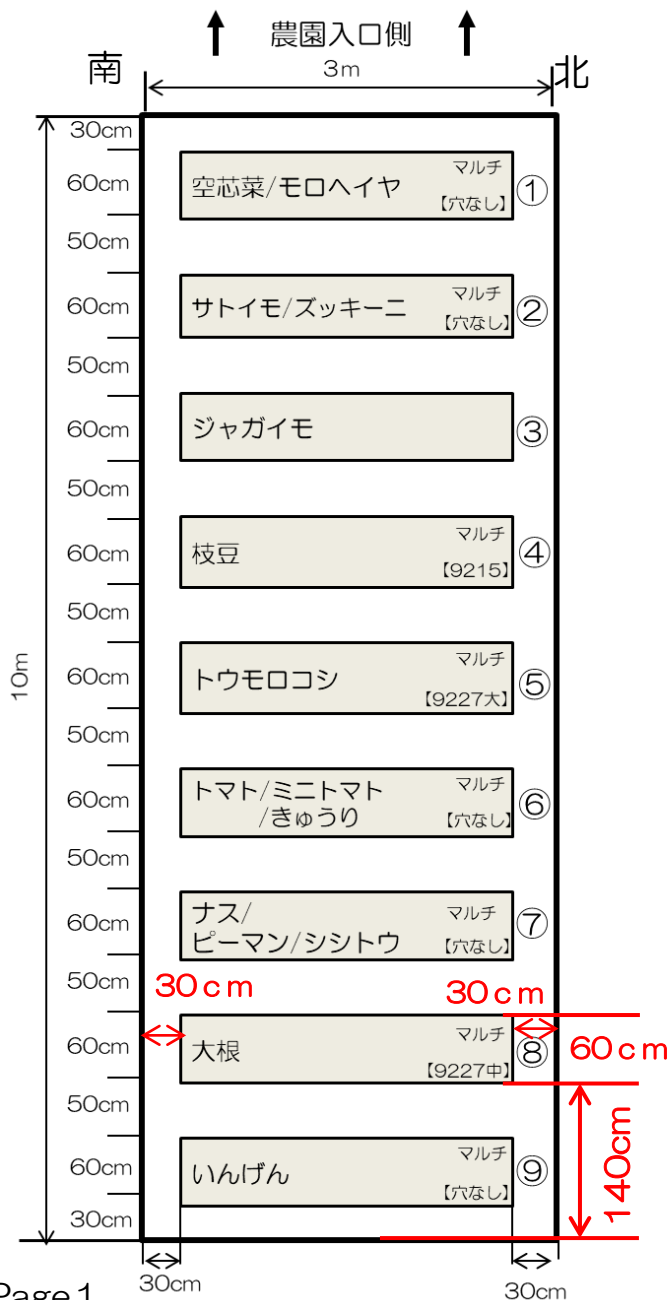




□大根のマルチ引き(⑧列目)

- 施肥：化成8号、石灰、アヅミン 各1杯(約200g)
- マルチ9227中をひく

できるだけ3/13まで

マルチ引き手順 自信がない方は指導しますのでお声がけください

- ①採寸し、うね両端に間縄を引く
- ②間縄の内部に施肥した後、レーキで肥料をうね全体に混ぜる
- ③うねを塩ビパイプ等を使って平らにする
(凸凹にすると水が溜まります)
- ④うね全周を掘る

通路部の30cmは確保ください、

慣れないうちは角スコープを使うと楽です。

注1.土はうねに垂直に掘り、土はうね外側によける

注2.4隅部をしっかり掘る

- ⑤マルチを覆い、左右に引っ張りながら溝に埋め込む
しわが出ないようにマルチの縁をしっかりと押し込む。

※工程⑤の後の微調整

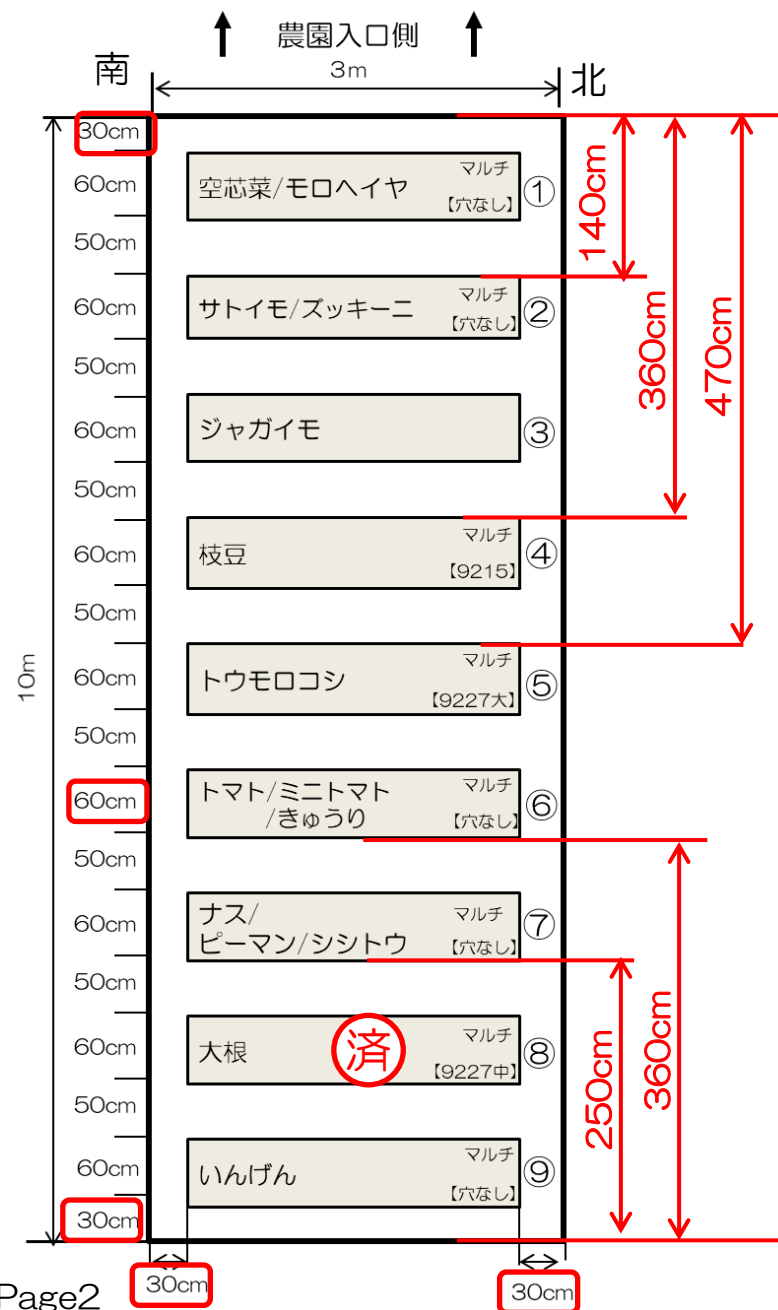
隅部は溝をしっかりと掘りマルチを埋め込みます



30cm分が通路となります

間縄
作業後は片付けます

最後にマルチの縁
を押し込むと
きれいに張れます



⑧列：大根以降のマルチひきです

これ以降肥料は全て同一です **マルチの種類に注意**
優先順位が高い順番に記載しています

□トウモロコシのマルチひき(⑤列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・**マルチ9227大**をひく

3/28まで

□枝豆のマルチ引き(④列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・**マルチ9215**をひく

□いんげんのマルチ引き(⑨列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・**穴なしマルチ**をひく

4/3まで

□トマト/きゅうり(⑥列目)

- ・施肥：野菜名人、アツミン、石灰 各1杯(約200g)
- ・**穴なしマルチ**をひく

※**できるだけマルチ幅60cmを確保するように！**
狭いと支柱立て/植付の際、苦労します

4/10まで

□ナス/ししとう/ピーマン列(⑦列目)

- ・施肥：野菜名人、アツミン、石灰 各1杯(約200g)
- ・**穴なしマルチ**をひく

□イモ類/ズッキーニ(②列目)

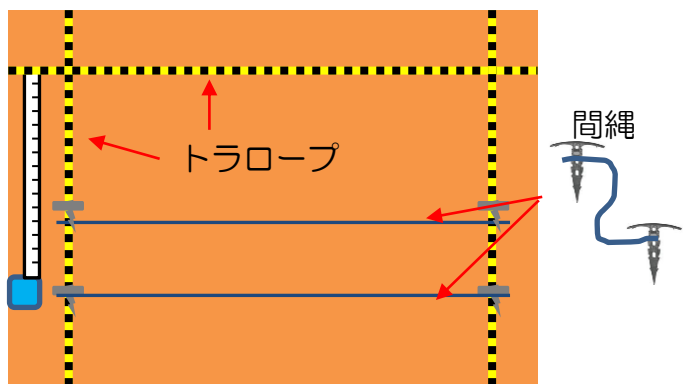
- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・**穴なしマルチ**をひく

□空芯菜/モロヘイヤ(①列目)

- ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・**穴なしマルチ**をひく

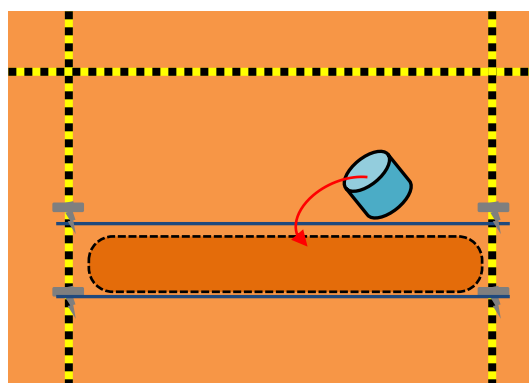
4/17まで

①

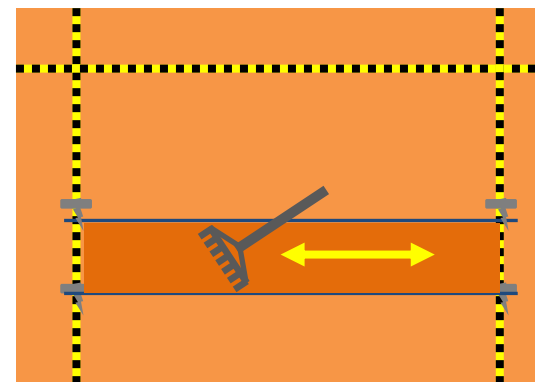


トラロープを基準に、寸法をはかります
うねの両端に間縄をひきます

②

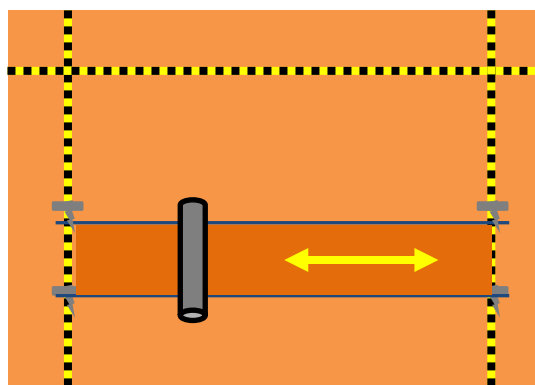


間縄の間に肥料をまきます



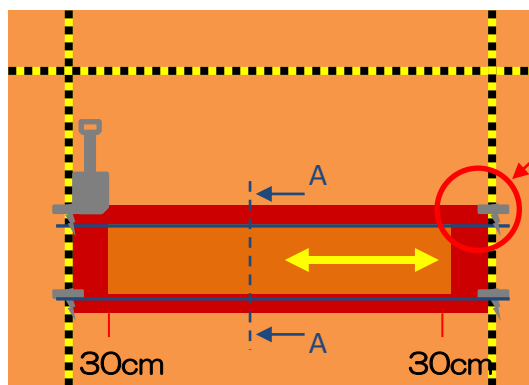
レーキ等で肥料をなじませます

③



塩ビパイプで表面を平らにします
※表面が凸凹していると
マルチに水が溜まります

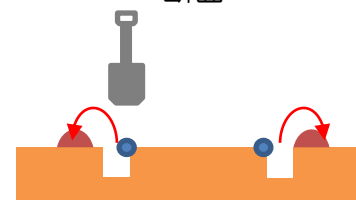
④



間縄周囲に溝を掘ります。慣れない方は
角スコップがおすすめです
通路分30cmを確保ください
※角スコップ幅が30cmの目安です

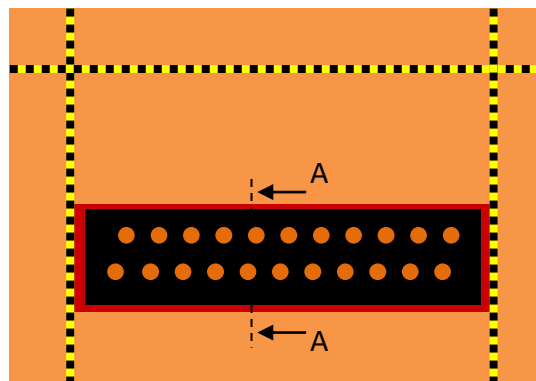
特に4隅をしっかりと掘ります

断面A

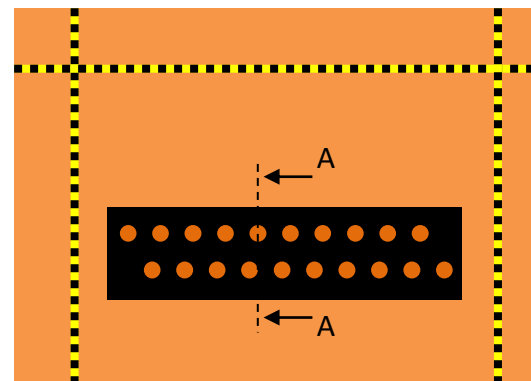
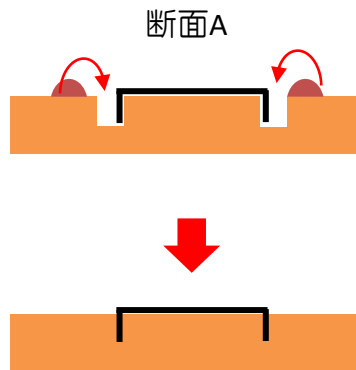


土は間縄の外側によけます

⑤



間縄を外し、マルチをかぶせます

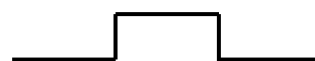
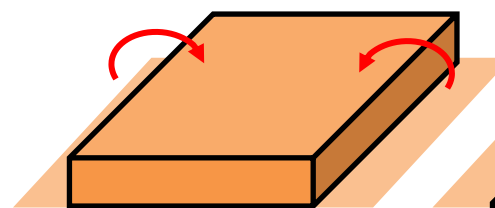


マルチにしわが入らないよう、
左右に引っ張りながら
溝に土を埋め込みます

補足

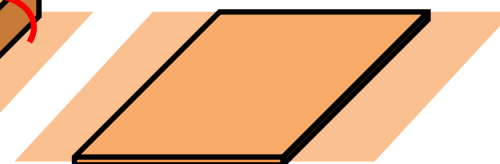
うね(畝)の作り方は大きく分けて、高うね/平うねがあります。当農園は水はけがよいため、平うねで行っております。無理に高うねにする必要はありません。本資料でおわりの通り、当農園では高うねの作り方の指導は行っておりません

希望する方は高うねにしても構いませんが、マルチ側面の埋め込みが甘いと風で飛びやすくなるので、注意してください。



高うね

土を10~15cmくらい高く盛り上げる



平うね

地面の高さのまま
※外周は通路として踏み固められるため、見た目3~5cmくらい高くなる

「各種肥料について」

本資料はHPのみ掲載です

第一回講習では「畑づくり」では堆肥(農園側で実施済み)、「ジャガイモ植え」では配合肥料撒きといった作業があります。同じように感じるかもしれませんが、それぞれ目的が異なります。

「畑づくり」の堆肥/石灰撒きは、**土壌を調整する**ことが主な目的です。

- ・堆肥：土の保肥性/保水性/通気性等を高めたり、土中の微生物の活動を活発にすることで、土中の環境を良くする優れた「土壌改良材」としての働きをします。
- ・石灰：土壌酸度を酸性→アルカリ性に変え、野菜が育ちやすいような酸度に調整します。

「ジャガイモ植え」の配合肥料撒きは、**野菜が成長するのに必要な栄養分を与える**ことが目的です。野菜に必要な三要素(窒素：N、リン：P、カリ：K)を与えます。

どちらも畑の状態により適正量が異なるため、本講習で示した量がそのまま他の畑(市民農園等)で使えるというわけではありません。ご注意ください

「マルチとは」

マルチとは正式には「マルチング」と言い、土の表面をポリフィルム等で覆う作業を意味します。マルチを行う効果は、以下の通りです。

- ①地温を調整する ②土壌水分を保持する(乾燥防止)
- ③雑草の防除 ④土の跳ね返りを防ぐ(病害防除)

色も、黒/透明/シルバー等があり、それぞれ以下の効果が優れているという特徴があります。

黒：雑草防除 / 透明：地温調整 / シルバー：アブラムシ防除

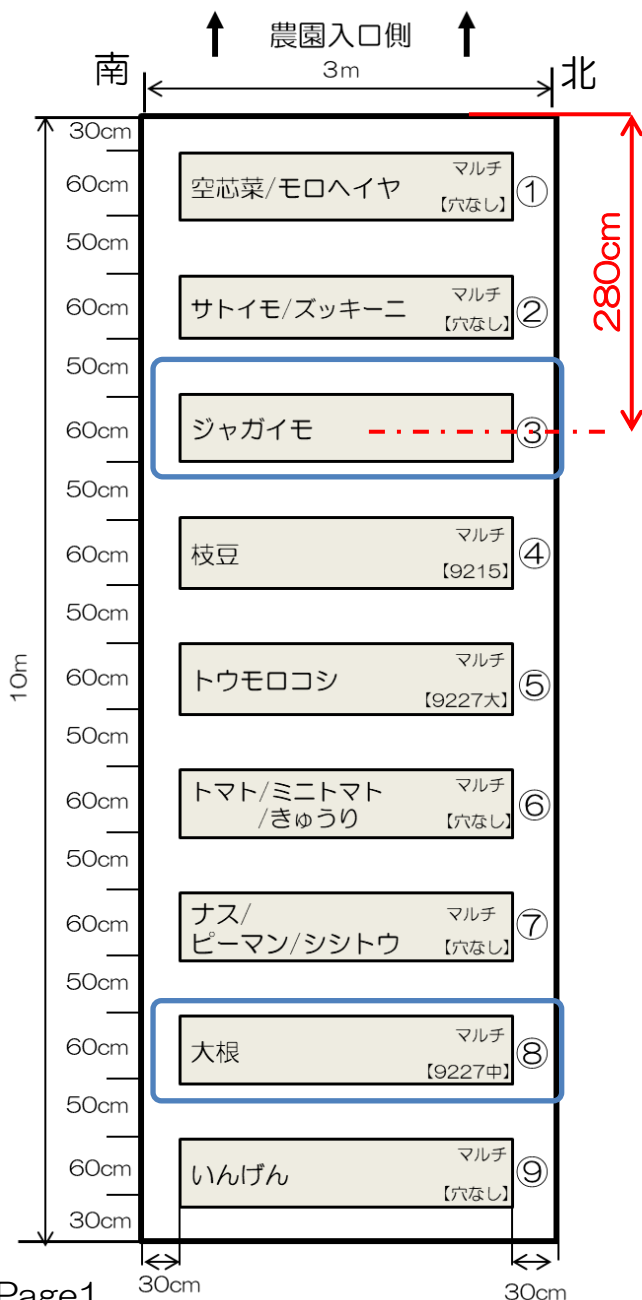
当農園では雑草防除の効果が高い、黒のポリフィルムを多く使用していますが、トマト/ナスを植えつけるところは、アブラムシ防除のため、銀(シルバー)マルチを使用する場合があります。

ちなみに、マルチ9230の「9230」とは、マルチの種類を示しており、9→95cm幅/2→2列/30→30cm間隔を意味しております。カブ等で使う9415は、95cm幅/4列/15cmとなります。

当講習では、マルチ→穴なしマルチ、マルチ9×××→穴ありマルチと呼びます。

2種類以上のマルチ引きがある場合、間違えないように注意してください。

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



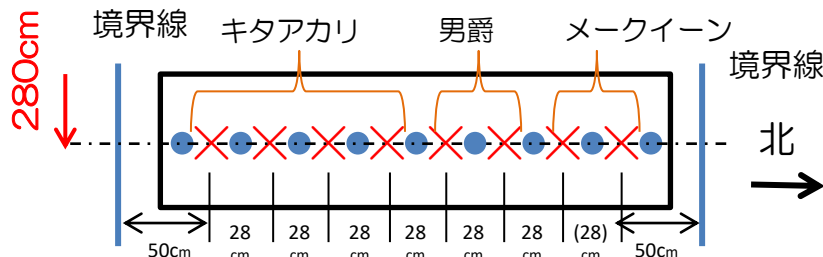
□畑づくり(区画全体)

- ・施肥：堆肥 4袋(45kg) 鶏糞2袋(30kg)
- ※2月中に耕耘機にて混ぜ込み済です。

□ジャガイモの植付け(③列目)

キタアカリ：2個(4か所)、男爵：1個(2か所)
メイクイン1個(2か所)

- ・種イモ切り(1/2にカット) ※芽があるところを残す
- ・**×指示部**に深さ約10cm程度の深さの穴をスコップで掘り、種イモを植え付ける(28cm間隔)
- ・施肥(肥料：**野菜名人**) 1杯 → ●部に均等に撒く

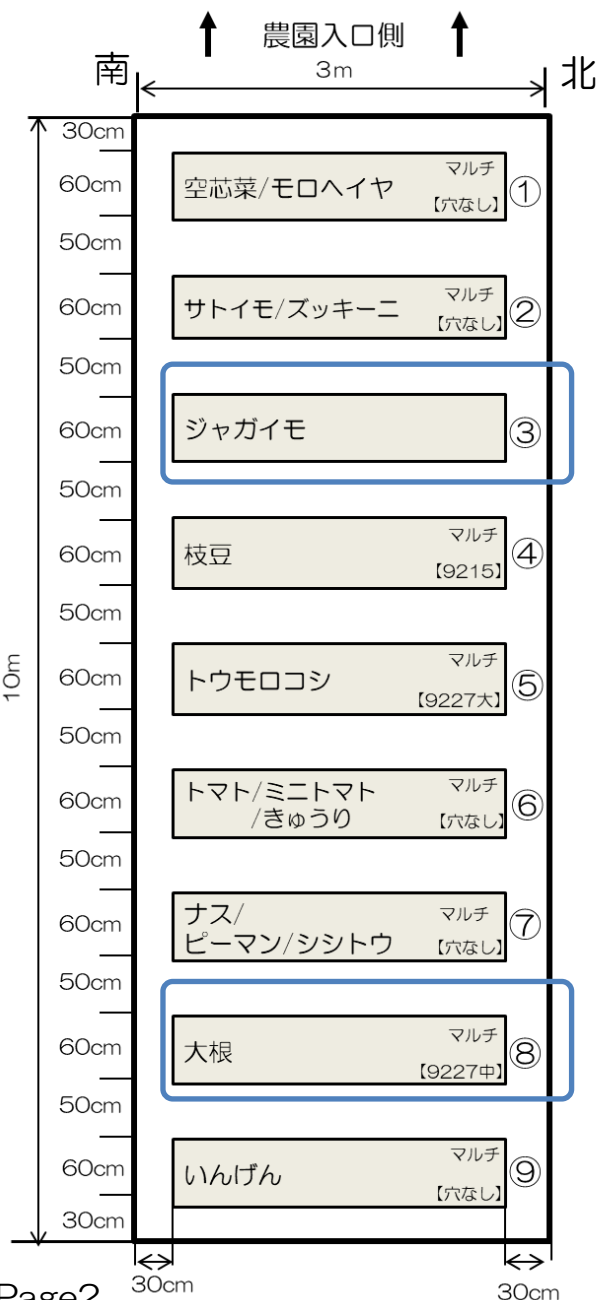


※標準は30cm間隔ですが、種イモを効率よく使えるよう間隔を狭めています。

注1. **区画/作付け位置に注意し、植付を行ってください。**

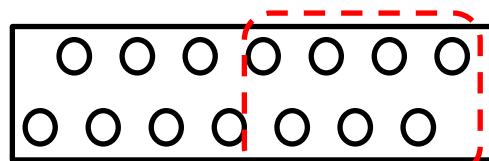
注2. 畝(うね)の作成や植付時に寸法を測る場合、
区画の境界線(トラロープ)を基準としてください。
区画内/区画間の通路が確保できなくなるためです。

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



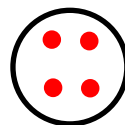
種まきは極力、マルチをひいて1週間ほど経過したのちに撒くようにしてください

- 大根の種まき(⑧列目) 品種：天寶(てんぼう)
- ・マルチ引き→春のマルチひき資料を確認ください
 - ・種まき(半分/北側) 1穴4粒



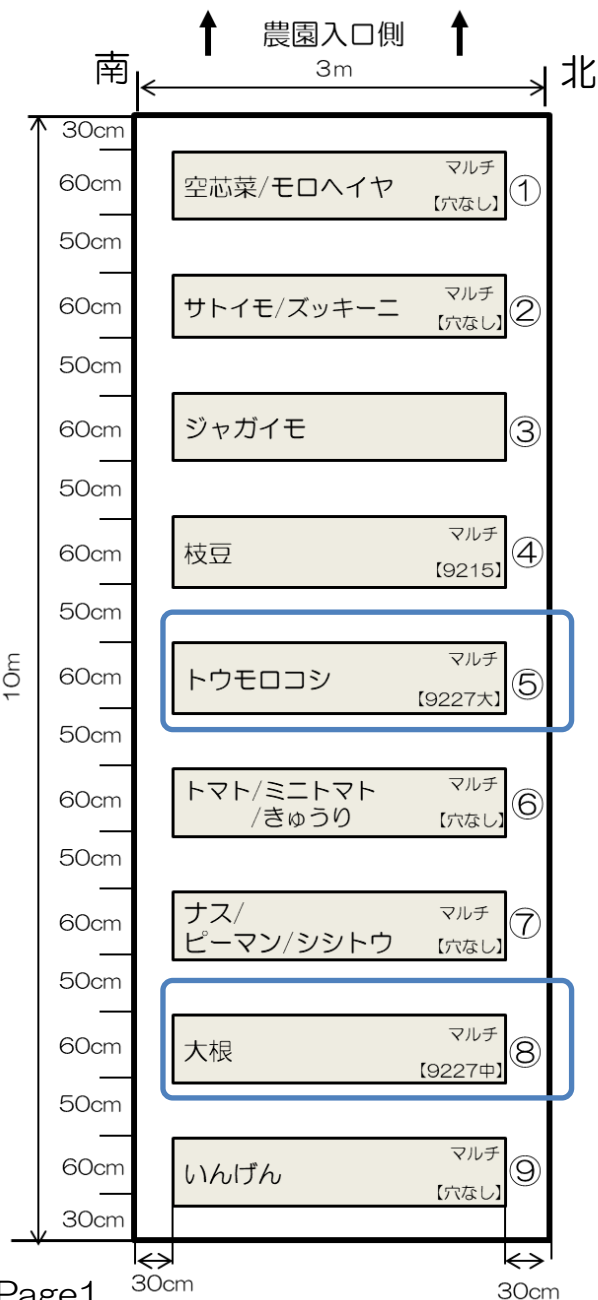
マルチ穴

→ 北



種を1か所に固まらないよう、ばらして撒きます
事前に4つ穴を空けると楽です

※最初の種まきから1週間後位に残りの種をまきます。



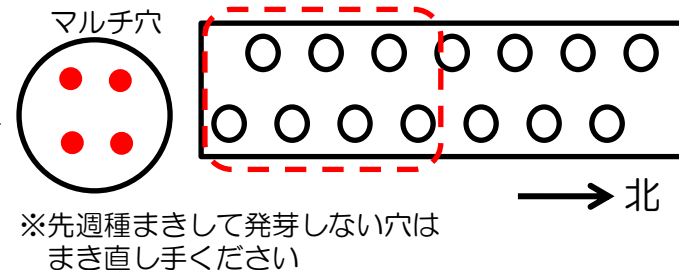
本講習会は自由来園形式で行います
作業される方は出席表の記入をお忘れなく

□大根の種まき(⑧列目)

・種まき(半分/南側)

※1穴4粒

種を1か所に固まらない
よう、ばらして撒きます
指で4つ穴を空けると楽です



□トウモロコシのマルチ引き(⑤列目)→マルチ引き資料参照

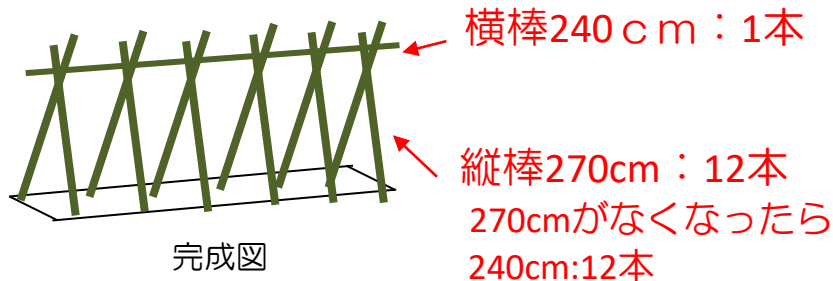
・3/27までに終了させてください

注意：農園関係者立ち合いのもと、本手順に従って作業をお願いします。

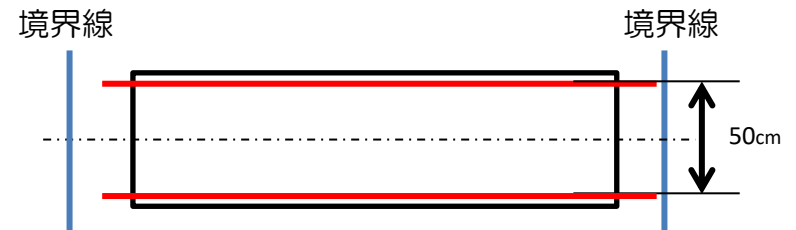
例年回っていると、誤った手順で作業をしています。特に以下注意ください。

- ・間縄を使わず採寸する → 支柱位置が大きくなります
- ・縦棒を全て立ててから横棒を乗せる → 支柱が折れて使えなくなります(厳禁行為)
- ・縦棒を横棒の上側で交差させる → トマト等の重さに耐えられなくなります

当体験農園では、合掌(がっしょう)式支柱を採用しています。トマト/きゅうりの茎を支柱に麻紐で固定し、上方へ育成させます。



②マルチ引きで使用した間縄を2本張り、支柱を立てる幅位置を決めます。



※幅の寸法はマルチの幅ぎりぎりか少し内側になる位置にします

①道具の準備

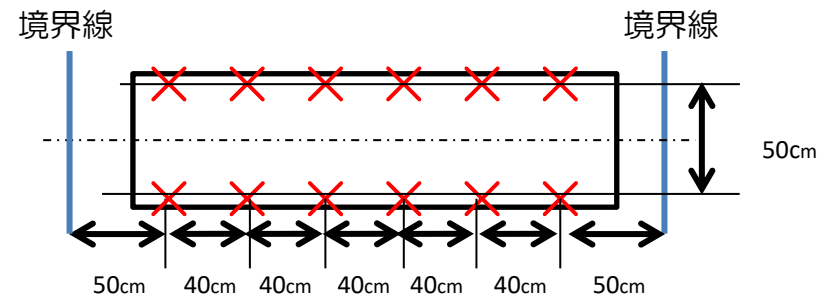
支柱とビニール紐を準備する

- ・支柱(横棒1本、縦棒12本、計13本)
- ・ビニール紐80cm 14本(スズランテープ)
- ・メジャー、**間縄**

※支柱は2種類あります。最初の方に作業される方は270cm12本、240cm1本をお持ちください。270cmがなくなった時点で、縦棒も240cmを使用ください

※ビニール紐は、スズランテープを60~80cm程度各自切り出してください。

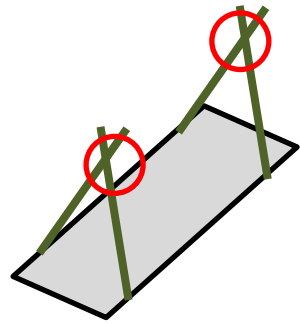
③支柱を立てる箇所(×位置)を採寸し、縄上に指などでマルチに穴をあけます。



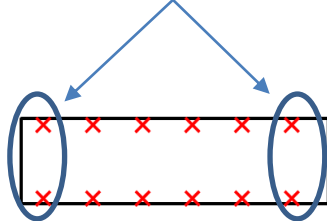
※本来の植付は50cm間隔ですが、トマト類の植付本数を増やすため、本農園では40cm間隔としています。

④両端の支柱(縦棒)を、下図のようにに交差させて
穴にさし込み、ビニール紐で**仮止め**する。

※支柱を強引に曲げないように注意すること

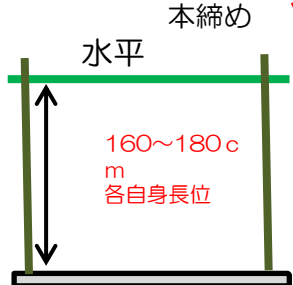
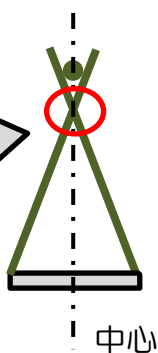
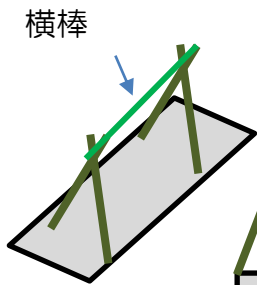


③であけた両端の穴
に支柱をさします



※写真は麻紐ですが、以下ビニール紐を使ってください

⑤上方に支柱(横棒: 240cm)をのせ、マルチ中心位置、
水平位置を調整し、ビニール紐を本締めする。
高さは作業者の身長が目安です。
あまり高いと収穫時に手が届かなくなります。

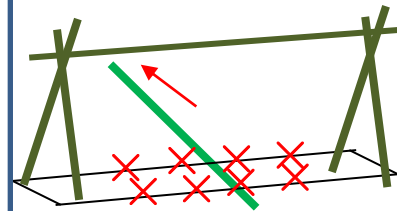


3本まとめてビニール紐で
本締め

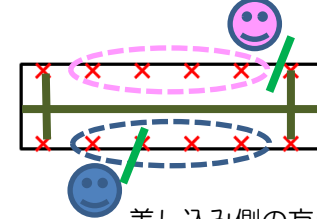


安定したら本締め

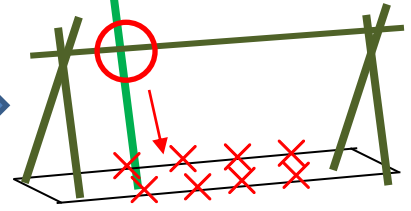
⑥残りの支柱を立て、ビニール紐で本締めする



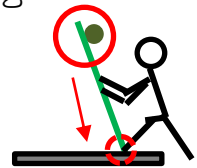
支柱を横棒の下から通す
※前後のマルチに棒を刺さないよう注意



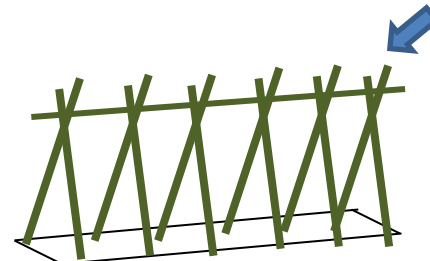
差し込み側の方に立つと
効率よく作業できます



上の支柱に沿わせながら穴に
差し込む



足で支柱を支えながら差し込
むと、支柱を曲げずに、効率
よく立てられます



残りの支柱も同様の手順
で穴に差し込みます



全ての支柱を立てた後
3本まとめてビニール紐
で本締めします

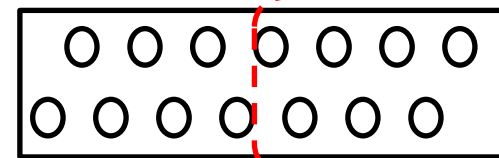
⑥手で支柱をゆらし、安定していることを確認する。
スカスカの場合、ビニール紐を結びなおす。
問題なければ、使った道具を片付ける

注：詳細は講習当日の指示に従ってください

本講習会は自由来園形式で行います
作業される方は出席表の記入をお忘れなく

□大根 2か所以上発芽しない所はまき直してください

□トウモロコシの種まき(⑤列目)
・種まき 1穴2粒(半分/北側)

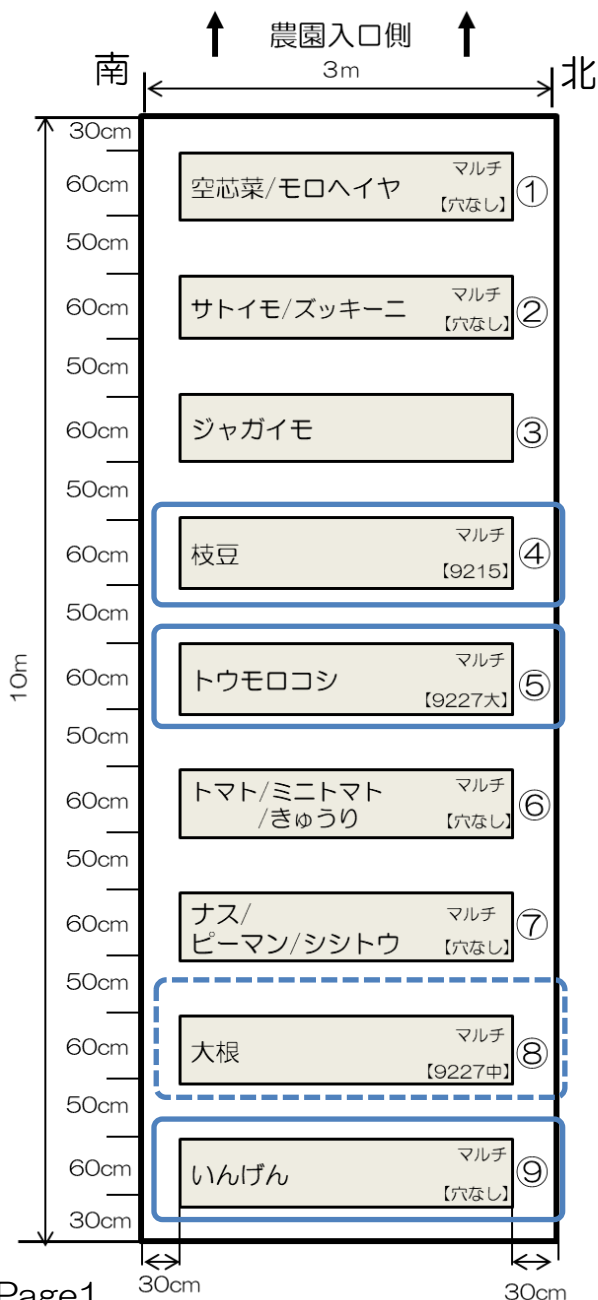


注：穴数は参考です。 → 北

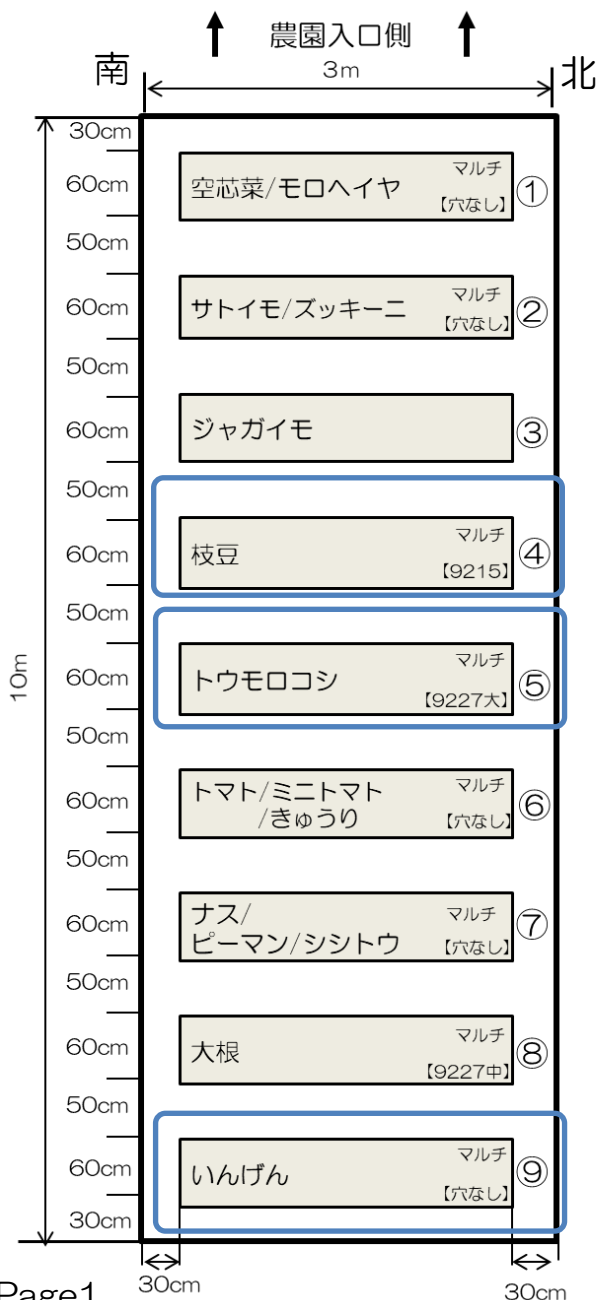
□枝豆のマルチ引き(④列目) → 春のマルチ引き資料参照
□いんげんのマルチ引き(⑨列目) → 春のマルチ引き資料参照
・本講習会中に完了させてください

ズッキーニ苗、空心菜の苗が大きくなっています
マルチ①②も4月中旬までにひくように計画してください

□トマト支柱たて(⑥列目)
一斉メールでお送りした時間帯で指導します
資料は説明時にお渡しします
不在時は作業できません

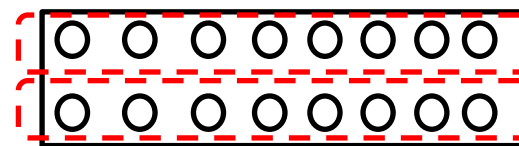


注：詳細は講習当日の指示に従ってください



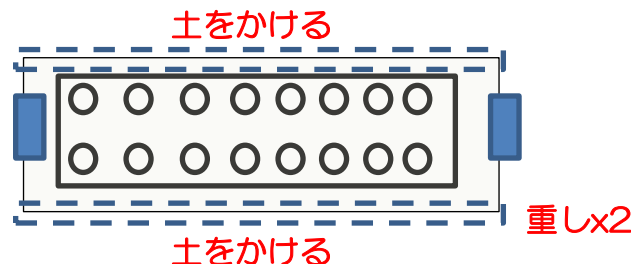
□枝豆の種まき(④列目)

- ・種まき**1穴2粒**
(深さ1.5cm程度)



黒豆
(たんくろう)
→ 北
茶豆
(湯上り娘)

種まき後、鳥避けのためパオパオ(不織布)をかぶせます
その後、円筒の重しを前後に置き、両端は土をかぶせます

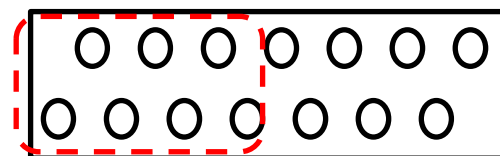


パオパオは各自のコンテナ内にあります。
重しは原則各区画2個としてください

□トウモロコシの種まき(品種：ゴールドラッシュ)

(⑤列目)

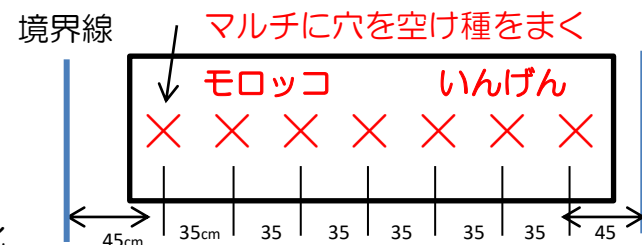
- ・種まき**1穴2粒**



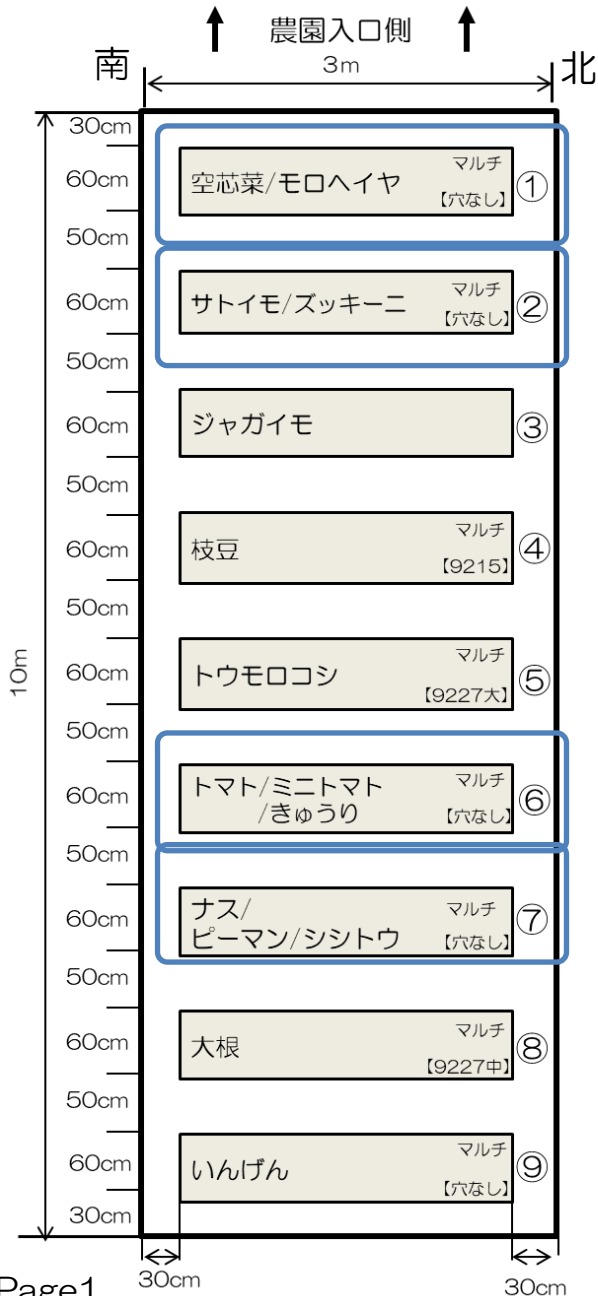
□いんげんの種まき(⑨列目)

- ・マルチに穴をあける
- ・種まき(7か所、**1穴2粒**)

※モロッコ/いんげん
の割り振りは自由とします



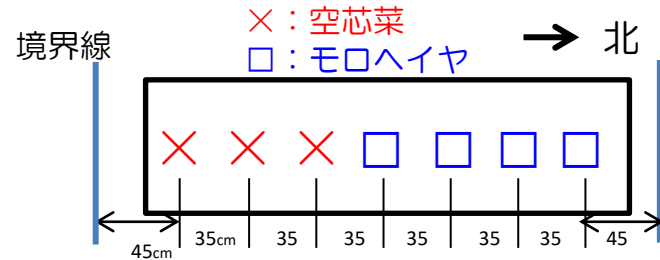
注：詳細は講習当日の指示に従ってください



苗のポットは洗って返却ください

□空芯菜の植え付け(①列目)

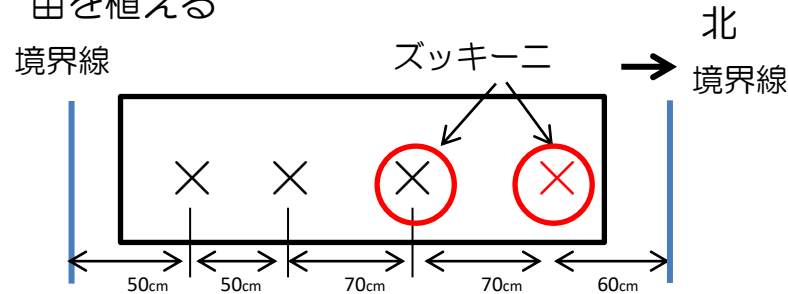
・各区画、希望数定植する



モロヘイヤの希望数により異なります

□ズッキーニ(②列目)

・穴なしマルチに以下の寸法で穴を空ける
苗を植える

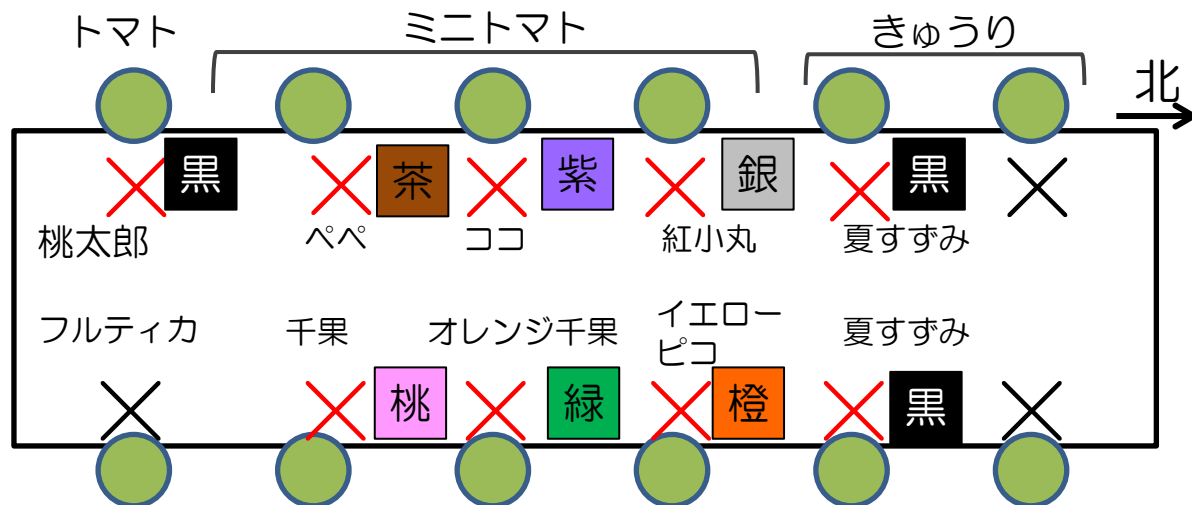


【トマト/きゅうりの植付場所(⑥列目)】

支柱から10cmほど離れた場所に植えます。(赤「×」の箇所)
最初は支柱でなく、鉄棒に誘引ください

赤×：本日植え付け

黒×：後日植付

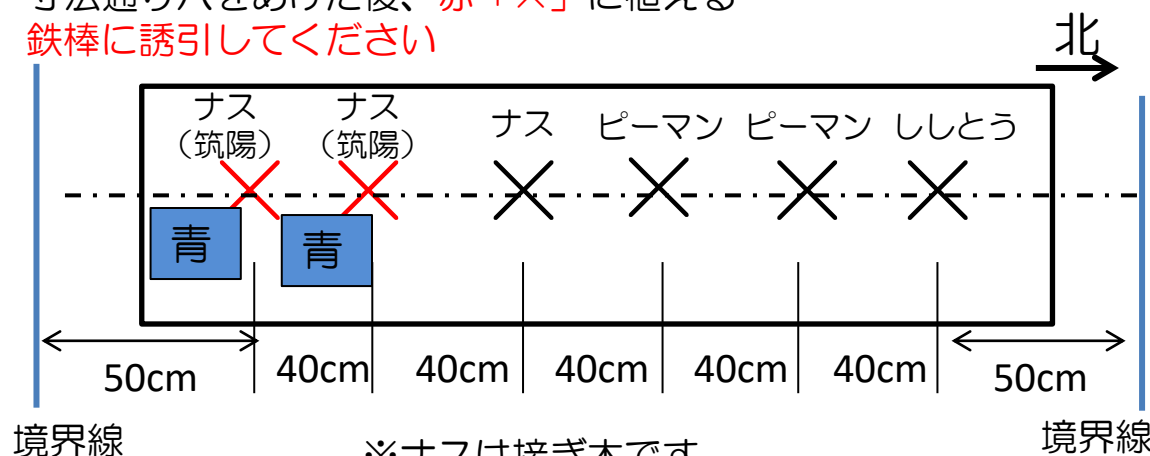


トマト/きゅうり注意点

- ・花が咲いている方を外側に向ける(トマトのみ)
- ・苗が小さいうちは鉄棒に誘引
※桃太郎/夏すずみは接ぎ木苗です

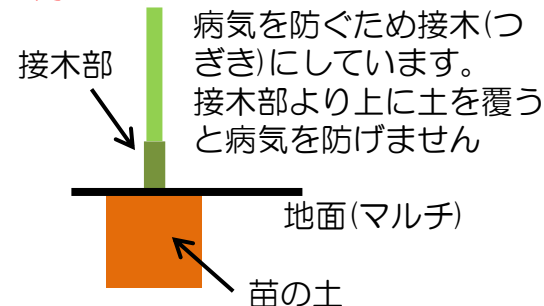
【ナスの植付場所(⑦列目)】

寸法通り穴をあけた後、赤「×」に植える
鉄棒に誘引してください

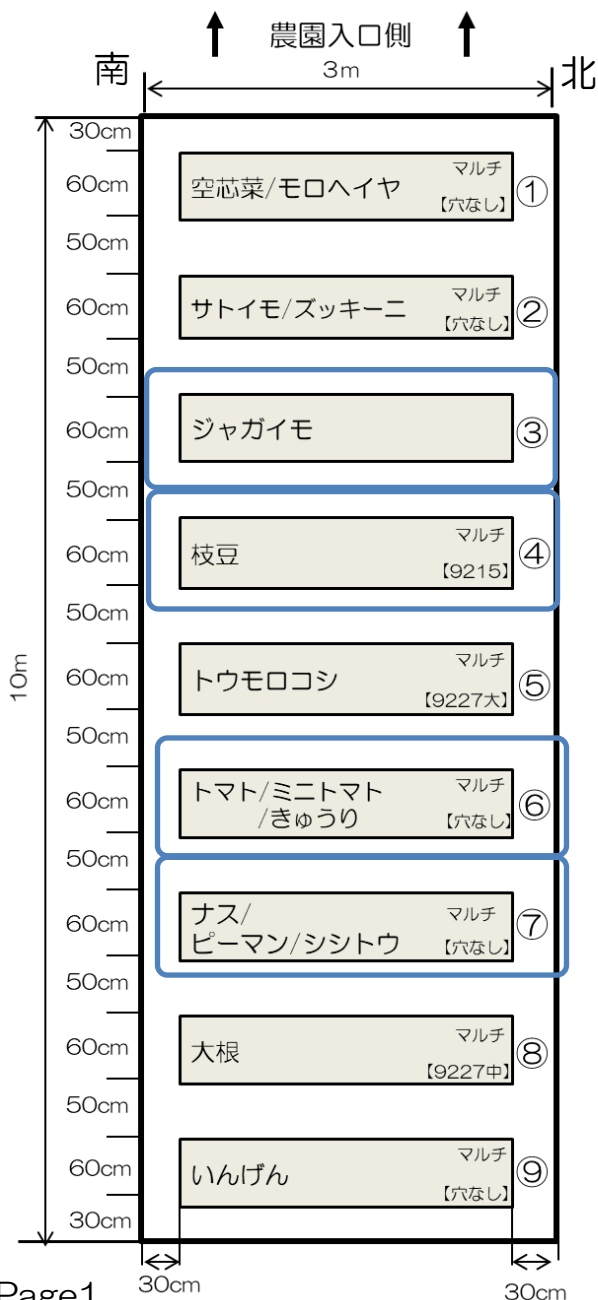


トマト/キュウリ/ナス共通

接ぎ木の苗は深く植えず、
苗の土の部分と地面(マルチ)が同じ
高さになるようにしてください



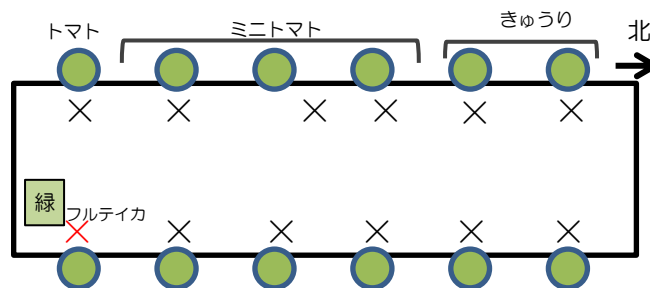
注：詳細は講習当日の指示に従ってください



- 枝豆：パオパオ外し、補植(種まき)
- じゃがいも追肥(化成8号) 1杯 土寄せ
- 大根間引き 最初にまいた箇所を4本→2本にする
- インゲン、トウモロコシ補植(種まき)

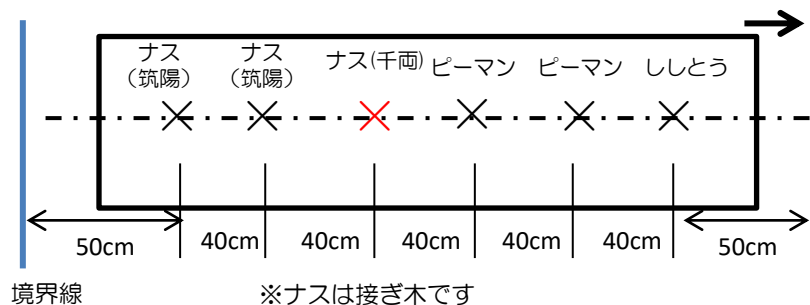
□中玉トマトの植付 (⑥列目)

支柱から10cmほど離れた場所に植える。(赤「×」の箇所)



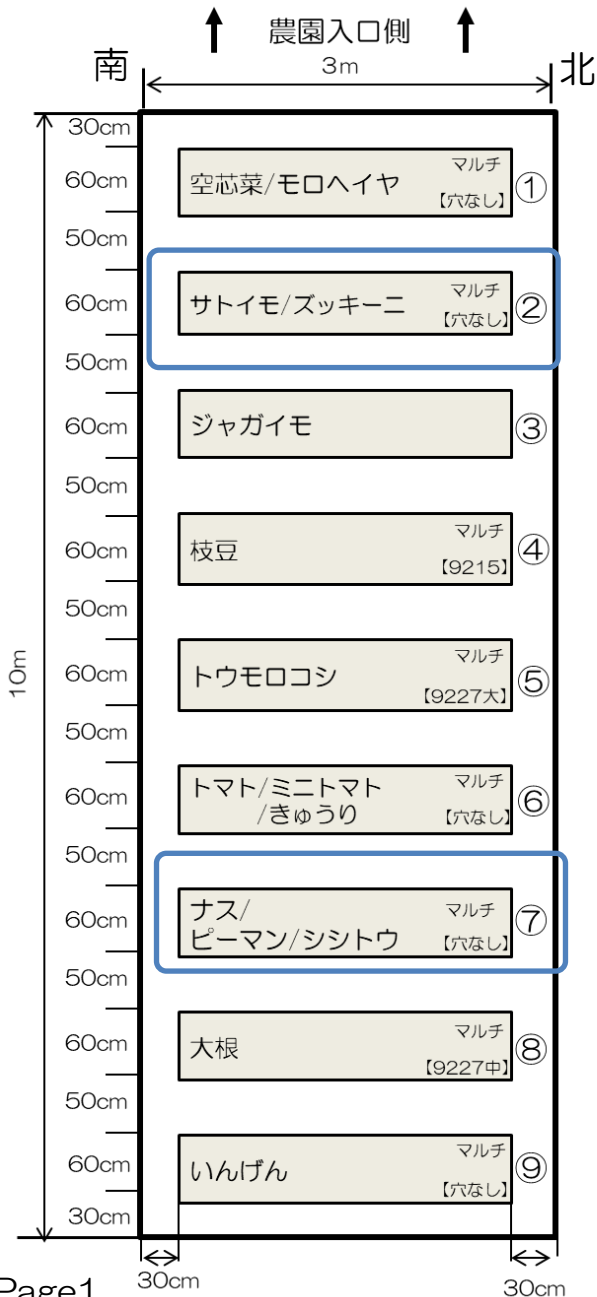
花を外側に
向けてください

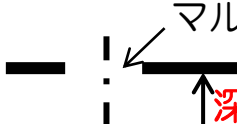
□ナスの植付 (⑦列目) 赤「×」の箇所に植付

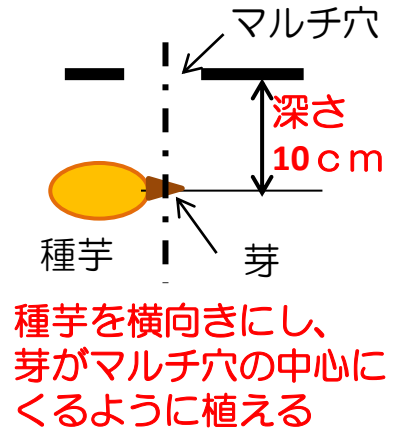
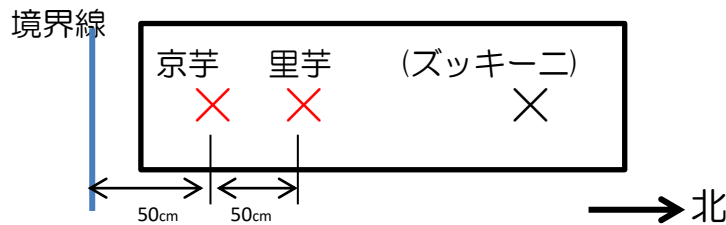


※中玉トマト/ナスは鉄棒に誘引ください

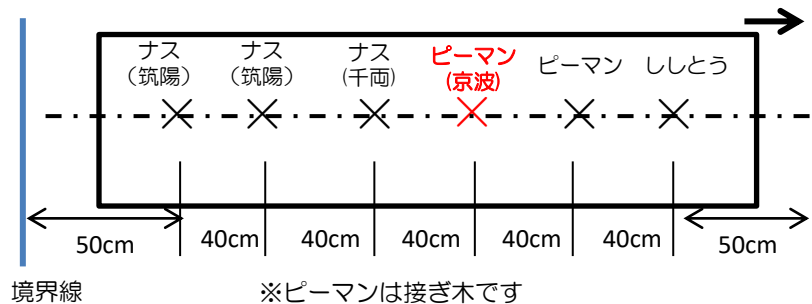
注：詳細は講習当日の指示に従ってください



- トマト/ミニトマト/きゅうりの誘引
→風で折れやすいので、支柱にしっかりと誘引ください
- 大根 4本→2本→1本と段階的に間引きを行ってください
ほとんどの方が1本にしてもいい状況です
- インゲン、トウモロコシ補植(種まき)
- 京芋/里芋 (②列目)
・マルチに以下の寸法で穴を空ける
・京芋/里芋→種芋を右図のように植える
- 

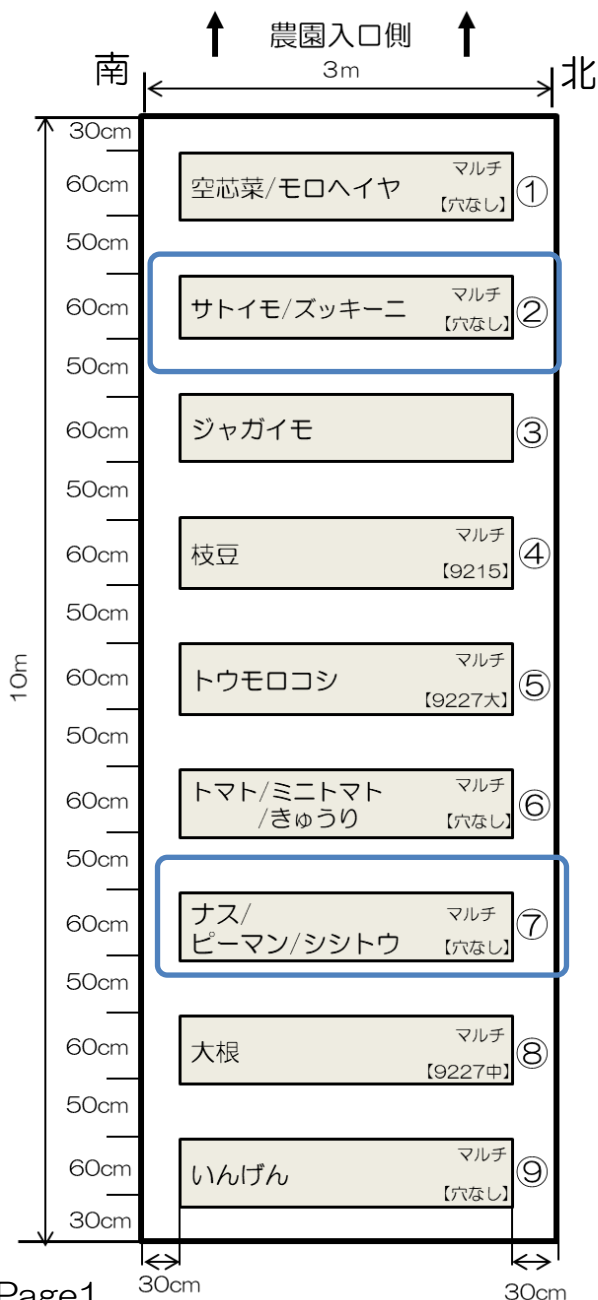


- ピーマン(京波)の植付 (⑦列目) 赤「×」の箇所に植付



※ピーマン鉄棒に誘引ください

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



□除草・水やり

□トマト/ミニトマト/きゅうりの誘引

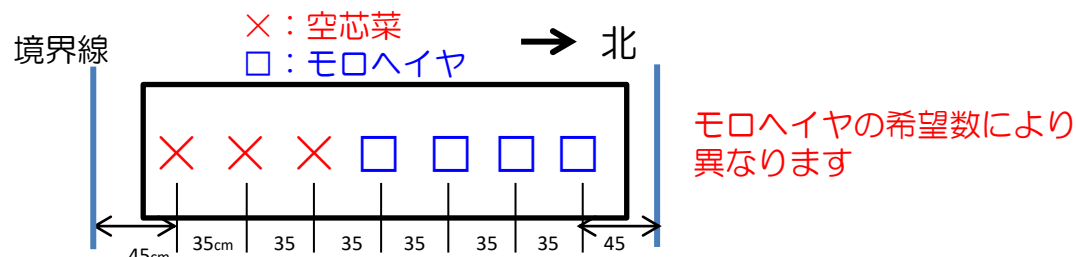
□トマト/ミニトマトのめかき

□大根間引き(1本)、収穫

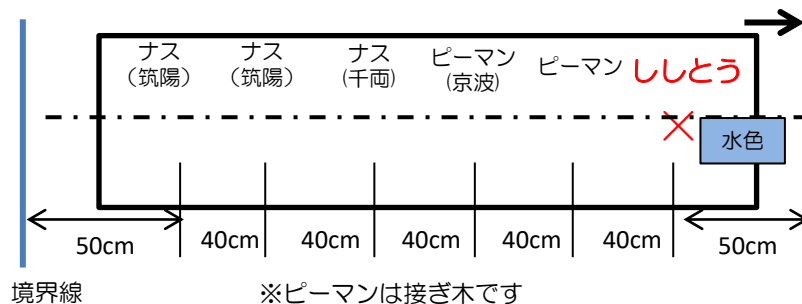
※多少小さいですが収穫しはじめてください

□モロヘイヤの植え付け(①列目)

・各区画、希望数定植する

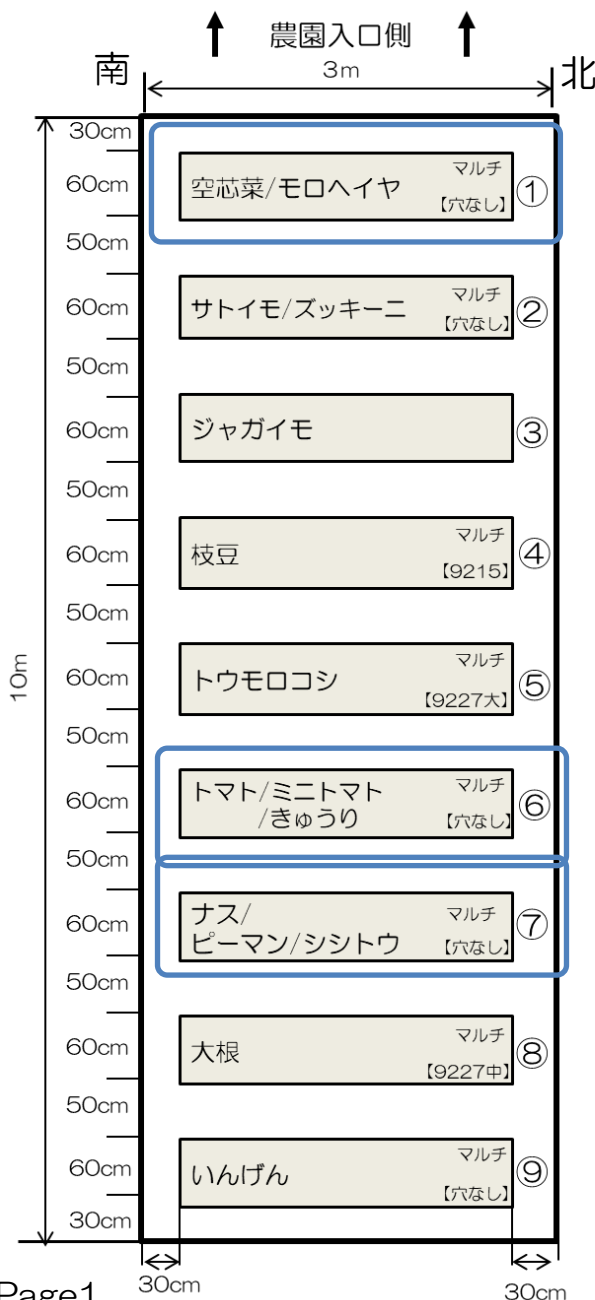


□ししとうの植付(⑦列目) 赤「×」の箇所に植付



※ししとうは鉄棒に誘引ください

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



□除草・水やり

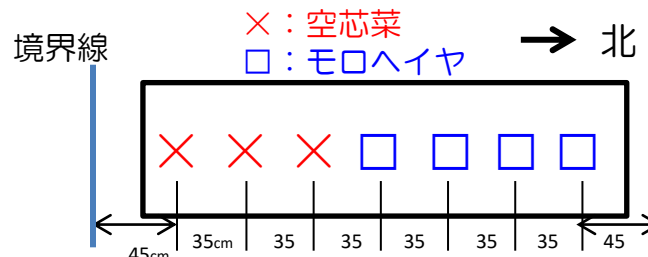
□トマト/ミニトマト/きゅうりの誘引

□トマト/ミニトマトのめかき

□大根間引き(1本)、収穫

※多少小さいですが収穫しはじめてください

□モロヘイヤの植え付け(①列目) 各区画、希望数植え付ける

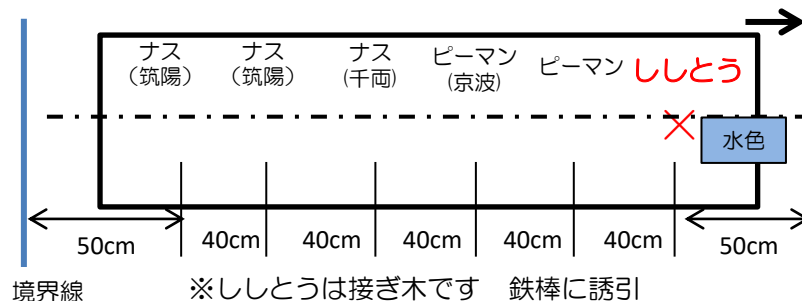


モロヘイヤの希望数により
異なります

□きゅうりの植え付け 2個(⑥列目)

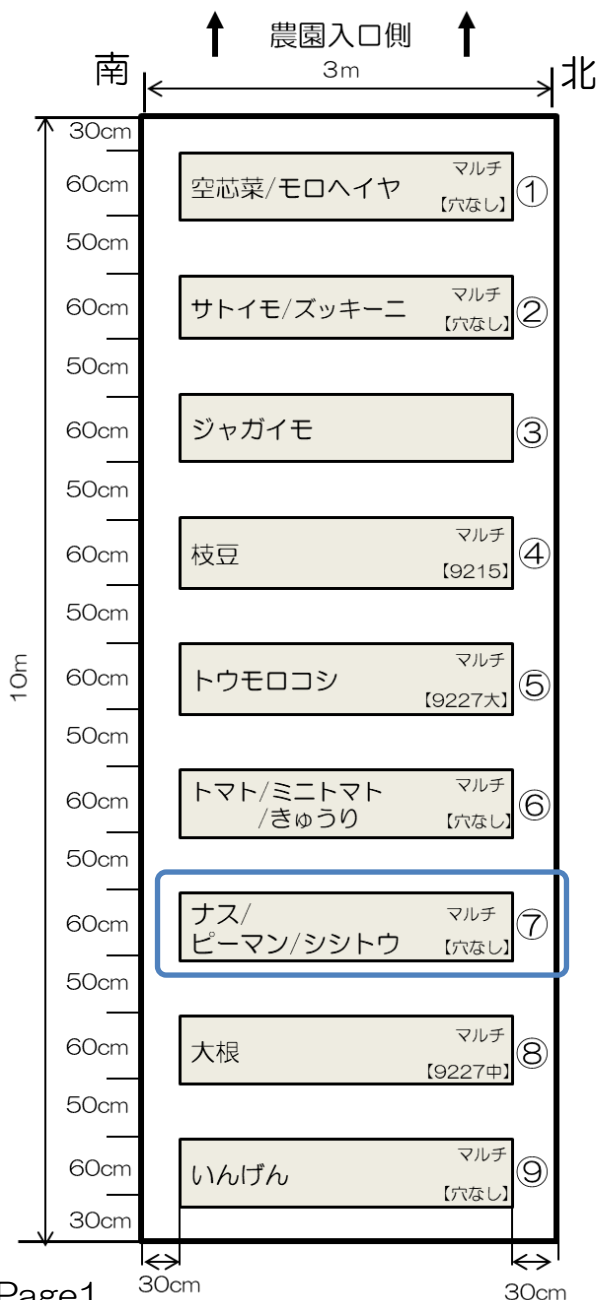
残りの支柱に植え付け、鉄棒に誘引する

□ししとうの植付(⑦列目) 赤「×」の箇所に植付



※ししとうは接ぎ木です 鉄棒に誘引

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



□全体

- ・除草・水やり
- ・トマト/ミニトマト/きゅうりの誘引
- ・トマト/ミニトマトのめかき

□収穫

大根：6月上旬までに収穫が終わるよう計画的に収穫ください
きゅうり、ズッキーニなど

□ピーマン植付： 5/28中入荷なので入荷次第ご連絡します

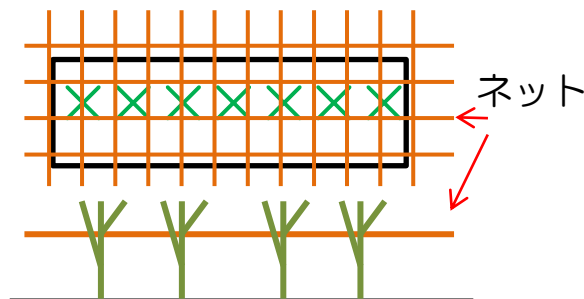
□ナス列ネットはり

①支柱(74cm/**6本**)と
ネットを用意する。

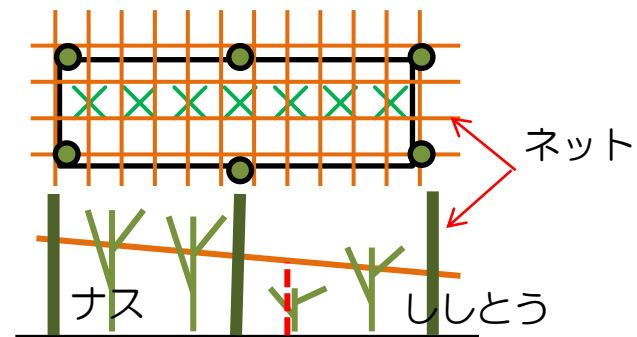
※**ネットは支給済みです**

※**支柱本数は守ってください**

②ネットをナス/ししとう/
ピーマンの上に軽く掛ける



③支柱を6本立て、ネットを張る
(ピンと張ると落ちてきません)

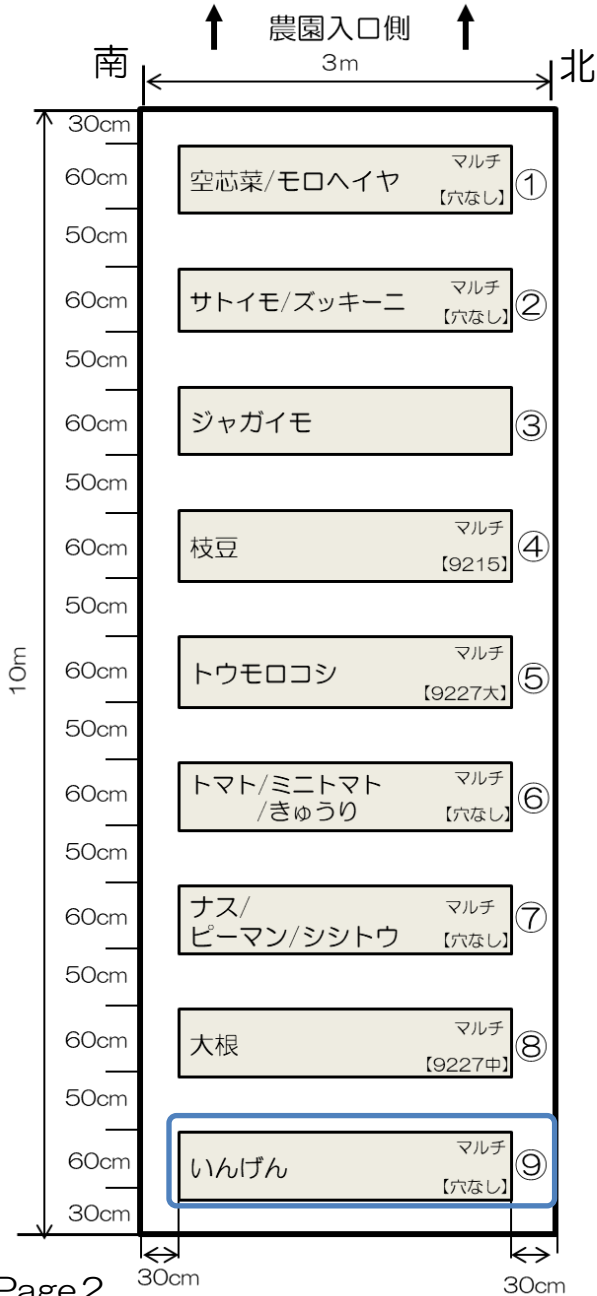


※小さい苗は鉄棒を併用ください

④成長に合わせてネット高さを調整する

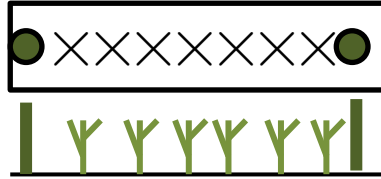


注：詳細は講習当日の指示に従ってください

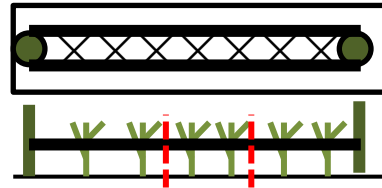


【いんげん支柱立て】

- ①支柱(74cm/**2本**)
黒ビニール紐を用意する
※紐は支給済です
- ②マルチの両端に支柱を立てる

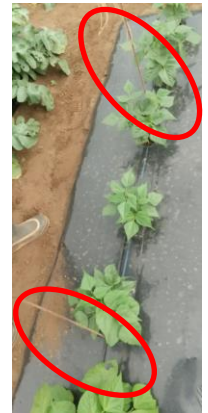


- ③一番小さい苗の高さに合わせ、
2本のビニール紐を両側から
挟むようにして支柱に縛る

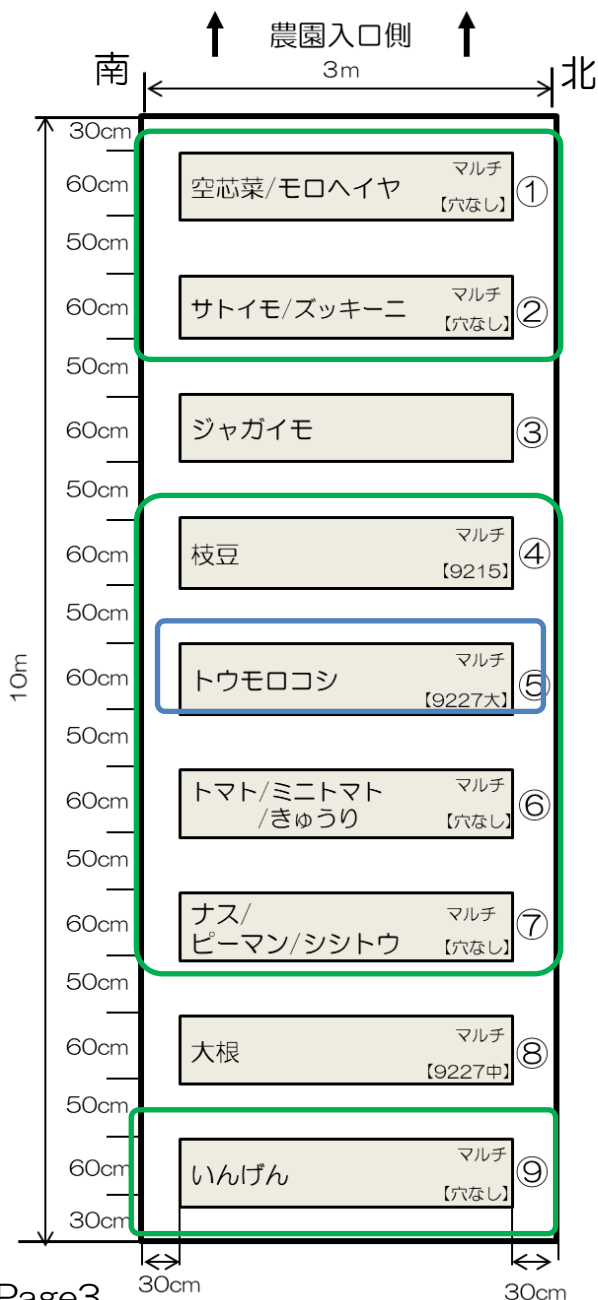


支柱2本だと
厳しい場合、
鉄棒を間に立
ててください
支柱は使わな
いください

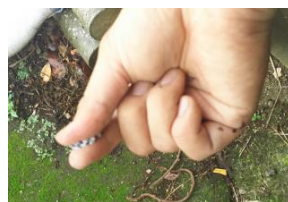
- #### ④ 苗と苗の間を麻紐で縛る



注：講習当日の指示に従って作業ください



□追肥 追肥用肥料 緑四角部 (大根/じゃがいも以外)
追肥用肥料を1株1つまみ撒きます
ボールに入れ、余った肥料は元に戻してください
多すぎないように注意してください(肥料焼けします)。



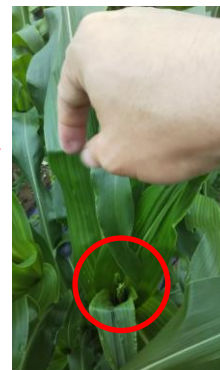
根元に1つまみ
ずつ追肥します

「1つまみ」はこれくらいです

追肥肥料は常設します。月1ペースで各自施肥ください

□トウモロコシ消毒

穂が出かかったものに対し、上方からデナポン粒剤を1～2つまみかけてください。詳しくはハウス内の掲示物を参照ください





【人参種まき】

①大根のマルチを剥がす

※スコップ等を使い、マルチの切れ端を残さないようにご注意ください

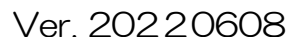
②肥料類を準備し、肥料用バケツに入れ、よくかき混ぜる

- ・化成8号/石灰/アズミン 各1杯
- ・ネマトリン(線虫予防薬) 150g (小分け袋に入ってます)

※ネマトリンの小分け袋は再利用しますのでお戻しください

③肥料類を撒き、クワなどでよく耕したのち、レーキ・プラパイプ等で平坦にする

④マルチ引き同様、2本の縄を張る（インゲンから50cm/幅60cm目安）



⑤人参筋作成用器具を持ってきます



当農園で自作した
器具です(非売品)



6月中は農具置き場横に
常設します。使用後は元
の場所に戻してください

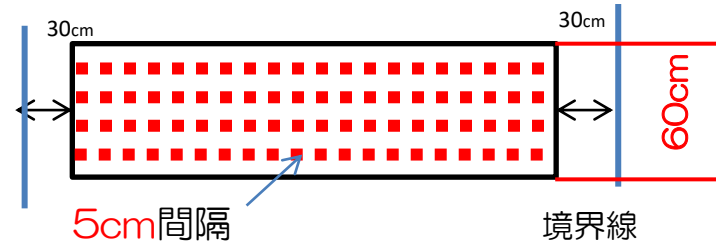
⑥以下の要領で筋を4本作ります



端部を縄と沿わせ
ながら手前に引き
ます

器具を地面に押し付け
4本の筋を作ります

⑦種をもってきて、筋に種をまく
向陽二号 約5cm間隔/一つぶん

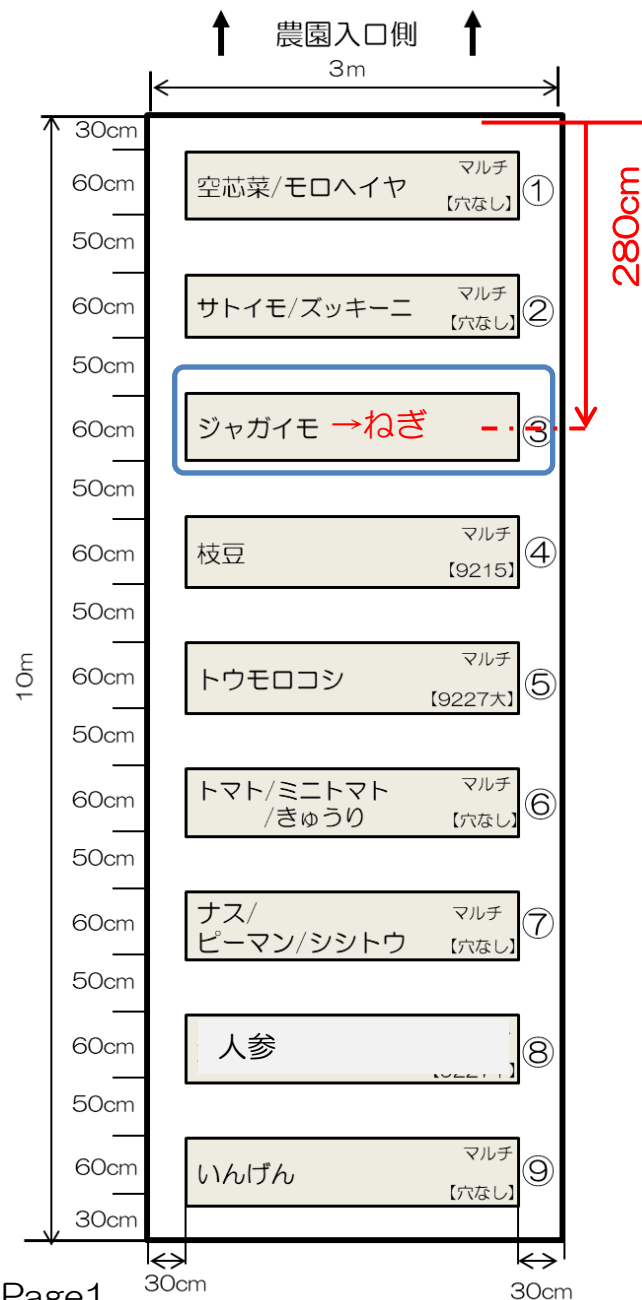


適正量は
これくらいです

⑧種まき後土をかぶせ、カットしたワラを表面に敷く

写真はありません
置き場所はハウス内に掲示します

作業終了後、水をしっかり撒いてください。また来園毎、必ず水撒きするようにしてください。



注：講習当日の指示に従って作業ください

今が春の最後の講習会です。以後管理・収穫期に入りますが、週に一度は来園くださるようお願いします。

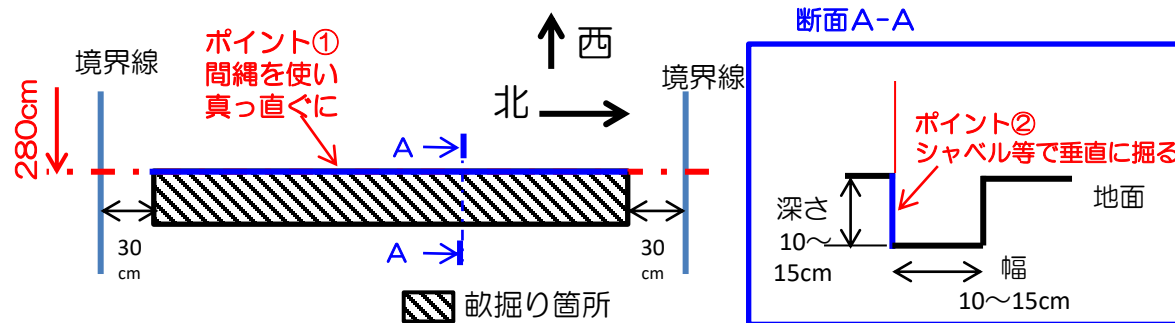
□全般

- ・収穫、管理作業

□ねぎ植付

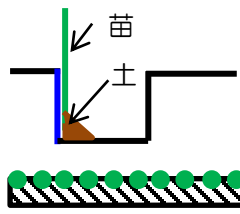
- ・石灰(カルメイト) → **2杯**
- ・化成肥料(化成8号)、アズミン → 1杯
- ・畝掘り → **基準面(青線部)**が曲がらないようにしてください

施肥後よく耕したのち
平坦にしてください



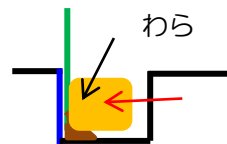
・苗植え

- ①ねぎの苗を基準面につけ
根元に土をかけて固定する



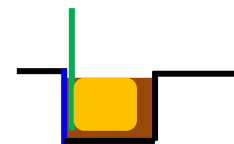
5cm間隔、畝全体に

- ②わらを畝に入れ、基準面
側に軽く押し付ける



注意① わらはは5～6個です
間隔狭いと細くなります！

- ③わらが埋まらない程度
の深さで土をかける



注意② 土をかけすぎると腐ります

「7月～8月の作業予定」

		列番	6月下旬 の 状態	7月～8月の作業	8月末 時点の状態
10m	30cm 60cm	①	空芯菜/モロヘイヤ マルチ 【穴なし】	適宜収穫ください。大きくなりすぎたら一旦バッサリ切り、きれいにしてください。	そのまま (10月まで可)
	50cm 60cm	②	サトイモ/ズッキーニ マルチ 【穴なし】	サトイモ類は成長に合わせ、畝上げを行ってください。ズッキーニは頃合いみて撒収ください。	そのまま (生育中)
	50cm 60cm	③	ネギ	特にありません	そのまま (生育中)
	50cm 60cm	④	枝豆 マルチ 【9215】	適宜収穫ください。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月中)
	50cm 60cm	⑤	トウモロコシ マルチ 【9227大】	適宜収穫ください。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月中)
	50cm 60cm	⑥	トマト/ミニトマト /ぎゅうり マルチ 【穴なし】	適宜収穫して下さい	そのまま (9月上旬撤去)
	50cm 60cm	⑦	ナス/ ピーマン/シシトウ マルチ 【穴なし】	適宜収穫して下さい。	そのまま (9月下旬撤去)
	50cm 60cm	⑧	人参	状況に応じ、種まきを行って下さい。	そのまま (生育中)
	50cm 60cm	⑨	いんげん マルチ 【穴なし】	適宜収穫してください。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月中)
	30cm				

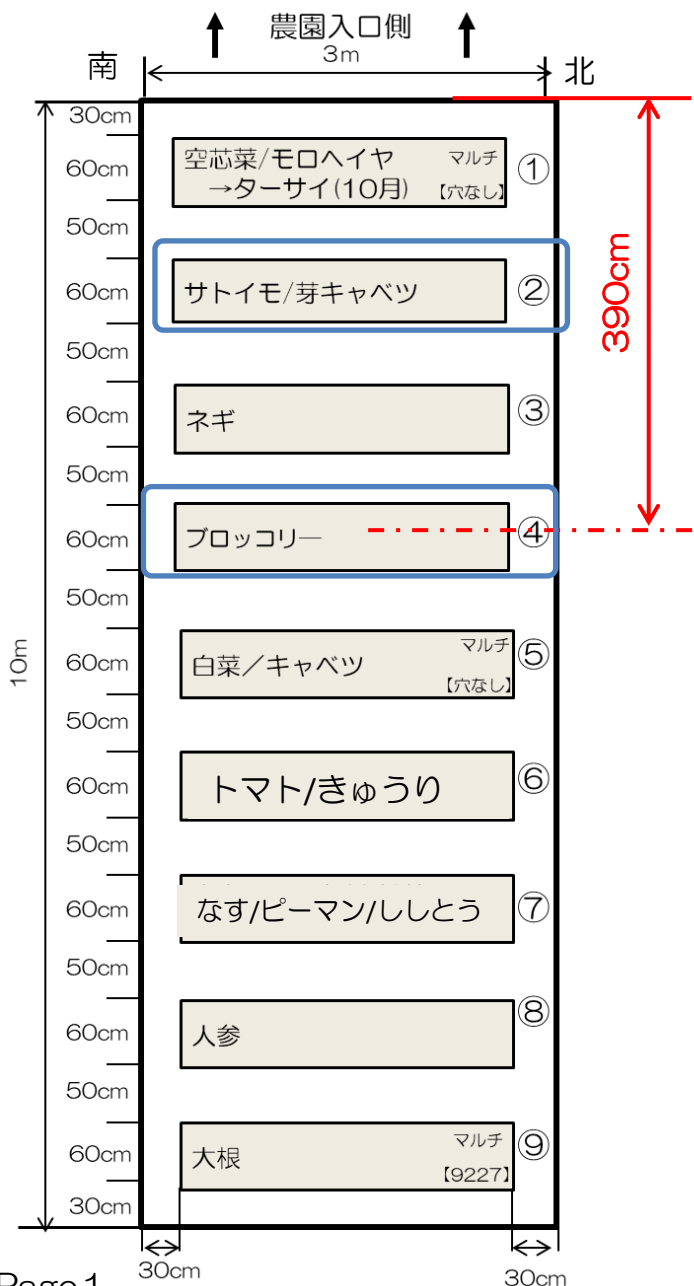
注1. 収穫時期、消毒情報は、一斉メールにてお知らせします

注2. 除草などの管理は適宜行ってください

Page 2

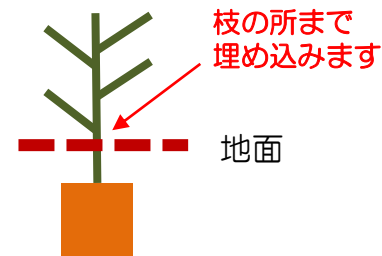
Ver. 20210618





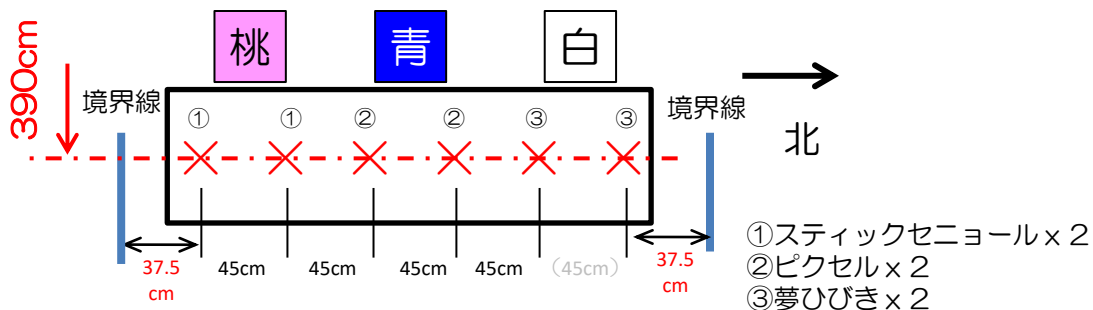
秋の苗定植時の注意事項

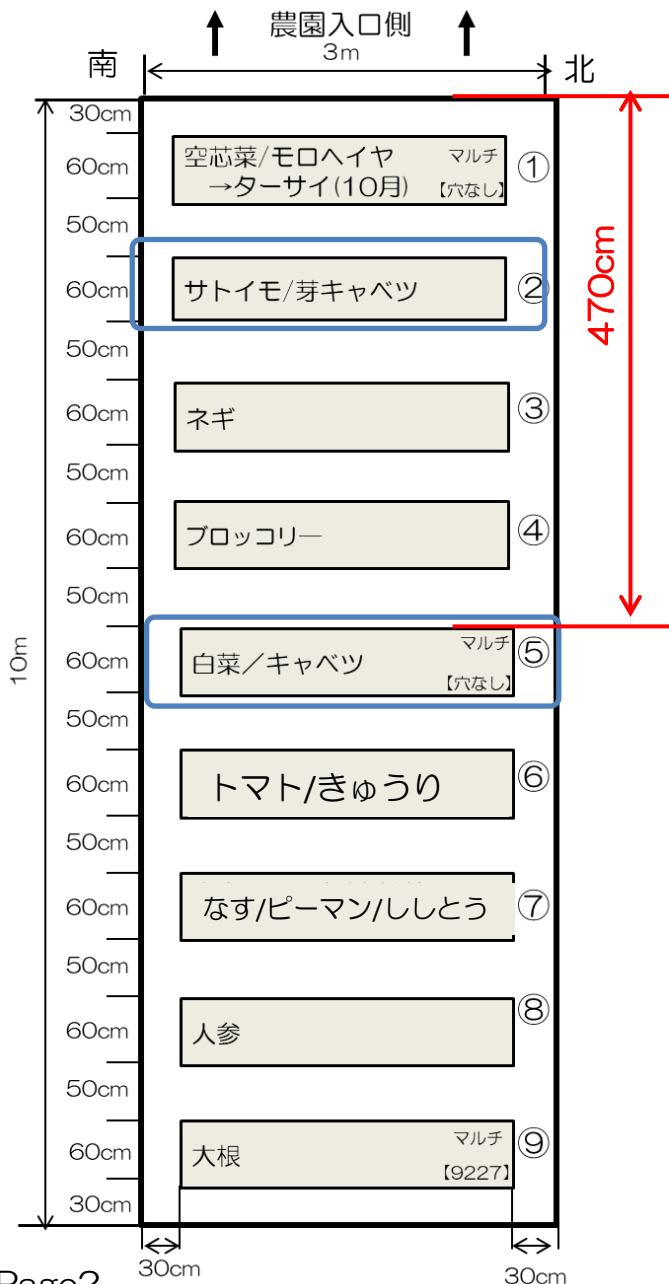
- 秋の作物の苗は**深植えします**
※夏のトマト/きゅうりの指示と異なるので注意
- ポット類は水で洗って返却ください



□ブロッコリーの定植(④列目)

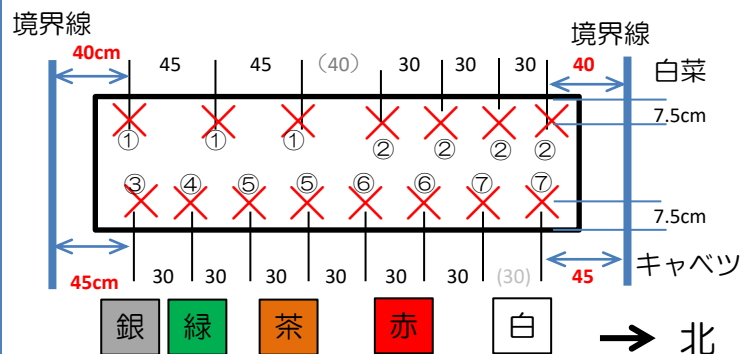
- 施肥：野菜名人、石灰、アヅミン 各1杯(約200g)
よく耕して混ぜ込む
- ブロッコリーの苗(3種類)を定植する
定植後、鉄棒に誘引する





□白菜/キャベツの定植(⑤列目) 赤×部

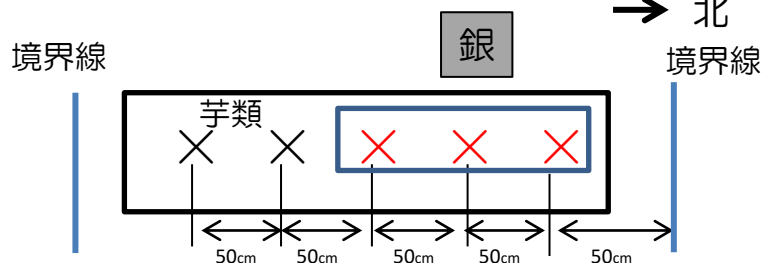
- ・施肥/マルチひき(野菜名人、石灰、アヅミン 各1杯)
 - ・マルチに穴をあけ、キャベツ/白菜を植え付ける
- マルチ引きで使用する縄を使い、キャベツ列-白菜列の間隔を十分にとるようにしてください

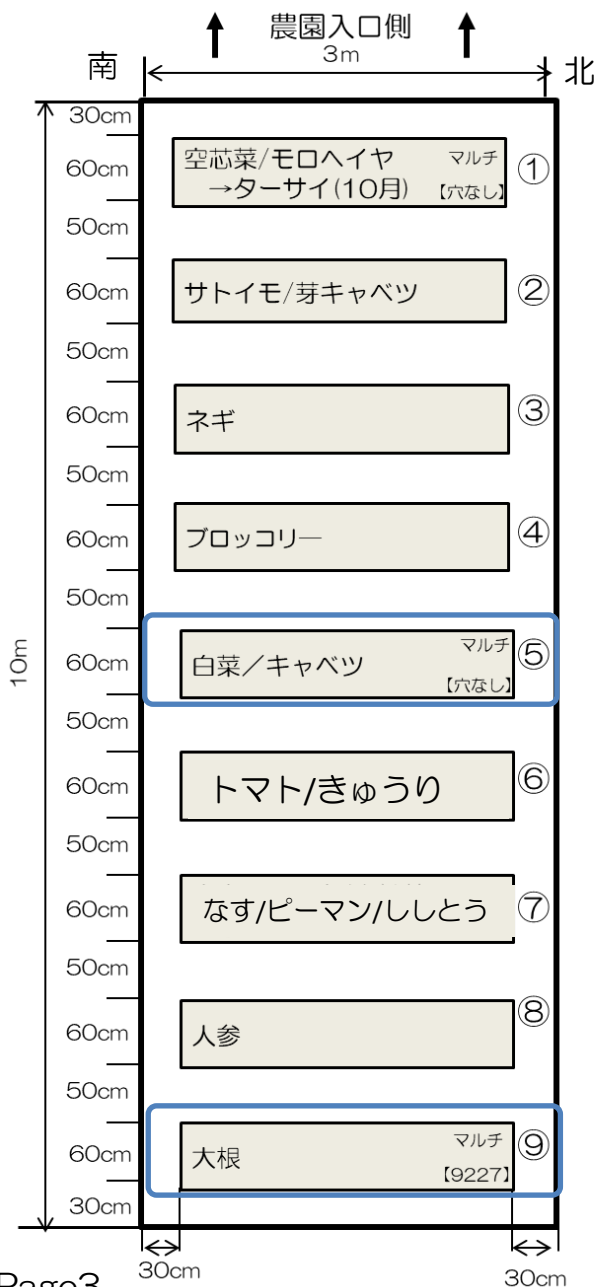


- ・白菜列
 - ① オレンジクイン x 3
 - ② ミニ白菜 x 4
 - ※どちらもポットは黒なので間違えないように
- ・キャベツ列
 - ③ コールラビ(銀) x 1
 - ④ ネオルビー(緑) x 1
 - ⑤ 金系201(茶) x 2
 - ⑥ 彩ひかり(赤) x 2
 - ⑦ 金剛(白) x 2

□芽キャベツの定植(②列目)

- ・肥料(野菜名人/石灰/アヅミン)を半分の量撒き、苗を植える
- ※コールラビ(銀)と間違えないようにご注意ください





トマト列の片づけ

- ・根を抜き、1週間程度干した後捨ててください
- ・支柱は長さ別に分けて片づけてください
※横棒として使用したのが240cmです



270cm

240cm

270cm

240cm

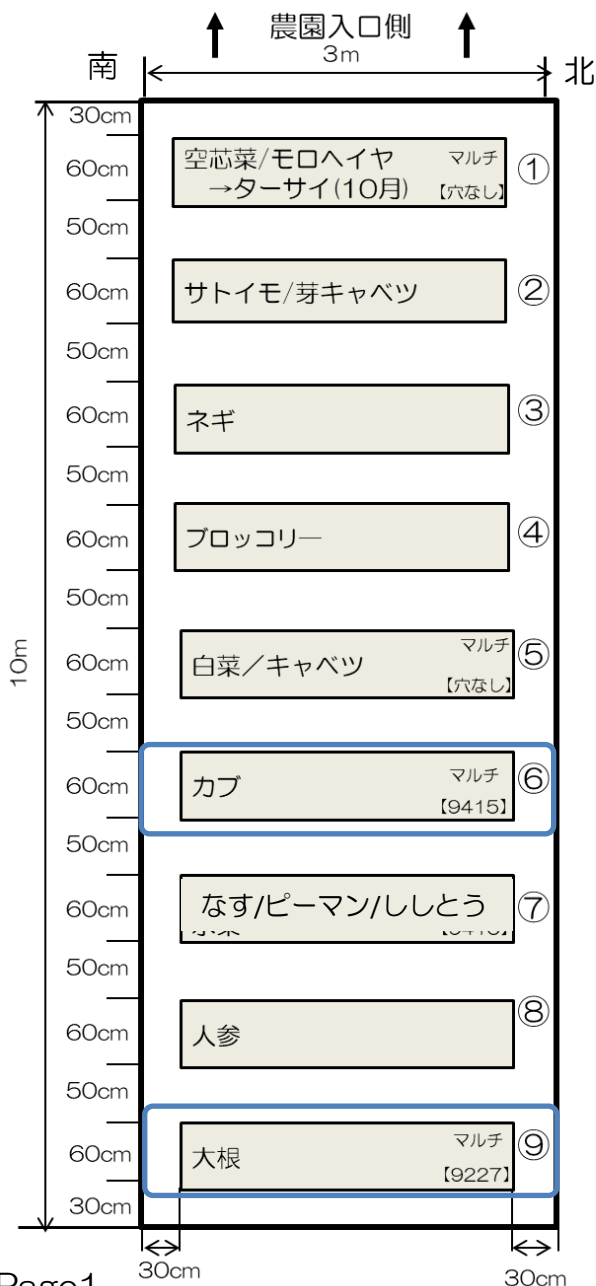
支柱を縛るのに使用したビニール紐は一つにまとめ
ゴミ置き場の黒バケツ内に捨ててください。
(麻紐も同じ場所に捨ててください。)

□大根準備(⑨列目)

※本講習会時にマルチはがしと施肥を済ませてください

肥料の種類に注意

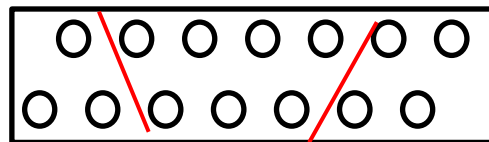
- ・施肥：化成8号、石灰、アヅミン 各1杯(約200g)
- ・可能な方はマルチ9227をひく



□大根の種まき(⑨列目) 9/19までに撒いてください

- ・種まき(1穴4粒)

※目安：聖護院3～4、三浦3～4、残り青首



聖護院 青首 三浦 → 北

※本図は配分の目安です。
穴の数はマルチの引き方で異なります

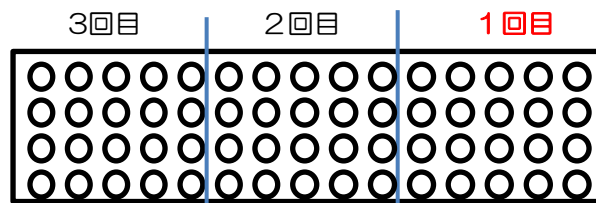
大根の配分(数の変更、種類の変更)は、各区画の好みで変えていただいて構いません。

□カブの種まき(⑥列目) 9月末までに撒き切って行ってください

雨天時不可です

- ・施肥(野菜名人/石灰/アズミン 各1杯)後、うね全体を耕す
- ・マルチ9415をひく (注)表面を平坦にしないと種が水没します
- ・種まき(1穴4粒)

2～3回に分ける方、必ず北側から撒くようにしてください

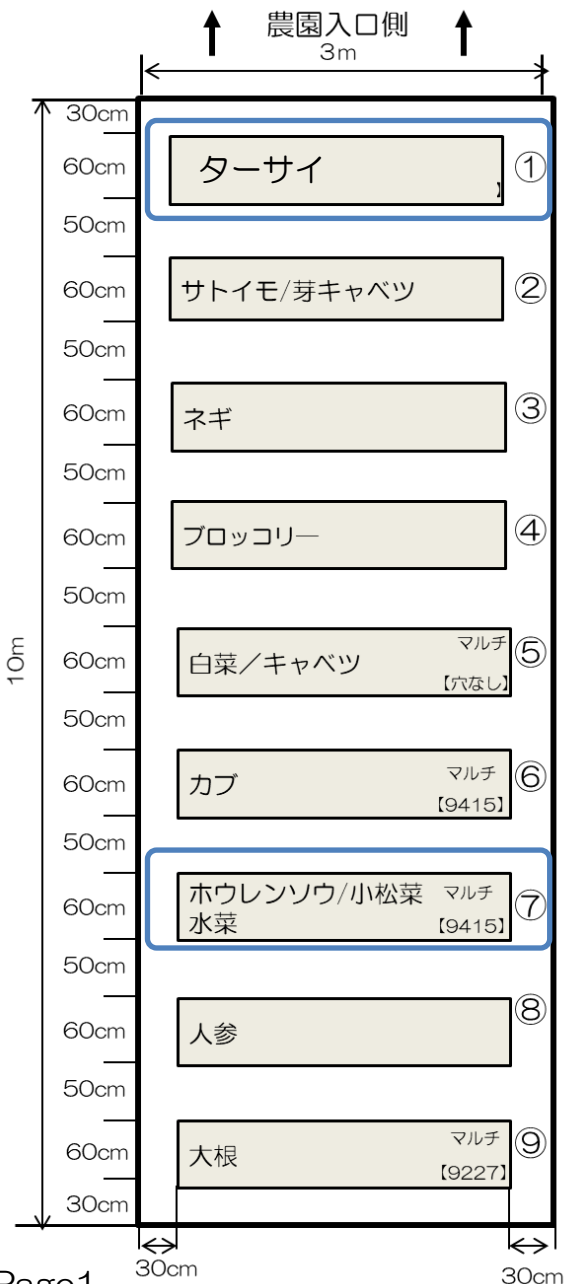


1度に全部撒いても
2～3回に分けて撒いても
構いません

→ 北

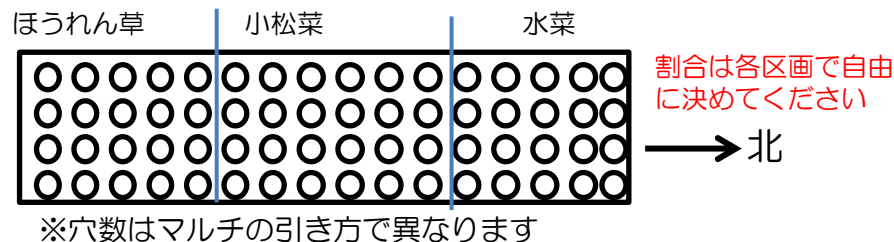
※上記は3回に分ける例です

※穴数はマルチの引き方で異なります



□葉物の種まき(⑦列目) 10/23までに行ってください

- ・ナス類の撤収&片づけ→ネットは各自BOXへ戻してください
- ・施肥(野菜名人/石灰/アズミン 各1杯)後、各自でうね全体を耕す
- ・マルチ9415をひく
(注)表面を平坦にしないと種が水没します
- ・種まき、各穴4粒程度
ホウレンソウ/小松菜/水菜 各5列程度



□ターサイ植付(①列目)

- ・空芯菜/モロヘイヤを撤収する
マルチはそのまま使用します
- ・マルチの×部に穴をあける
(モロヘイヤ/空芯菜の穴の間になります)
- ・施肥(野菜名人1杯) あけた穴から内側に撒く
- ・**12か所植え付けます**

